

農業團體法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

(三〇)

付託議案

○農業團體法中改正法律案

○水産團體法中改正法律案

○臨時森林資源造成法中改正法律案

○蠶絲業法改正法律案

昭和二十年十二月十六日(日曜日)午前
前十時十二分開會

○委員長(伯耆德川宗敬君) ソレデハ

昨日ニ引續キマシテ、會議ヲ開キマス

○政府委員(楠見義男君) 昨日ノ村上

サンカラノ御質問ニ對シマシテ、私ガ

御答ヘ致シマシタ點ニ於テ間違ヒノ

トガゴザイマシタノデ、此ノ際改メ

シテ、ソレヲ訂正シテ御答ヘ申上ゲ

イト思ヒマス、ソレハ東京都ノ農業

ノ問題デゴザイマスガ、御尋ノ趣旨ハ、

農業團體法ノ第一條ニ、道府縣農業

云フ字ガアツテ、東京都ノ道府縣

書イテゴザイマス爲ニ、東京都ノ農

會ハ一體ドウナルノコト云フ御尋デ

イマシタ、實ハ農業團體法ハ東京都

都制施行前ニ制定セラレタノデアリ

マス、從ツテ團體法施行後ニ東京都

問題ガ出テ參リマシタノデ、道府縣

フ字ノ中ニ都ヲ含メルコト云フ法律

ノ字句ノ誤解ヘノ問題ハ、東京都制

第九十條、第二項ノ規定ニ依リマシ

テ、字句ノ誤解ヘヲ致シテ居ルノデ

リマス、從ヒマシテ法律上、農業

法ト致シマシテハ、道府縣ト云フ字

ナツテ居リマスガ、都制ノ方ノ關係

ラ當然此ノ中ニ都モ含マレル、斯ウ

フ風ニ解釋致シテ居ルノデゴザイ

マス、ソレカラ施行令ノ方ノ問題デ

イマスガ、農業團體法施行令ハ、實

ハ東京府ノ施行後ニ施行セラレタ

ノデアリマス、ソコデ此ノ農業團體

京都制ノ施行後ニ施行セラレタ

リマス、ソコデ此ノ農業團體法ノ

令ニ於キマシテハ、團體ノ名稱ノ

ハ、法律上同ジヤウニ、道府縣農

云フ字句ヲ一般的ニハ使ヒマシテ、

ニ東京都ニ付キマシテハ、此ノ施

令ノ中デ東京都ノ特例ヲハツキリ

致シタヤウナ次第デアリマス、右

ウナ次第デアリマスノデ、昨日御

申上ゲマシタ點ガ間違ヒ居リマ

カラ、御訂正申上ゲテ置キタイ

思ヒマス

○村上恭一君 只今ノ御説明デ

了解シマシタガ、御指摘ニナリ

東京都制ノ經過規程ニハ、條文

書イテアリマスガ、今チヨット

ゴザイマセヌノデ……

○政府委員(楠見義男君) 御答ヘ

デマス、都制ノ方デハ、他ノ法

デ、府縣制トカ府縣トカ、其ノ

會トカト云フヤウナ風ニナツ

アルモノハ、勅令デ以テ別段ノ

場合ヲ除クノ外、之ヲ東京都制

東京都トカ、或ハ東京都制ト

ヲ含ムモノトスル、ソレ以外

他府縣ニ係ル規定ニ關シテ

ニ準ズル、斯ウ云フヤウナ

ガゴザイマス

○村上恭一君 分リマシタ

○男爵淺田良逸君 私人農業

コトニハ全ク素人デ、從ツテ

上ゲルコトハ幼稚デアリカ、

居ルカモ分リマセヌカラ、

ヨリ御教ヲ仰グヤウナコト

存ジマセヌガ、豫メ御了

テ置キ

マス、此ノ法ニ於テ、農業ト

ハ何ヲ指スカト云フ定義ガ

デゴザイマスガ、其ノ中ニ

レテ居ルノデアリマセウカ、

居ルストスレハ、耕作ノ部

リマセウカ、先ヅソレヲ御

マシマス

○政府委員(楠見義男君) 御答ヘ

デマス、農業ノ定義ニ付キ

是ハ一般ノ例ニ倣ヒマシテ、

ヲ致シテ居リマセヌ、唯農

トナリマシタル場合ニ、多

テ居リマシタル事項ニ付キ

農業團體法施行令ノ第一條

於キマシテハ、農業ヲ營ム

ヲ有シテ居ル者、是等ノモ

者ト云フヤウナ意味デ以テ

律上ハ會員ノ資格ヲ認メテ

ガ、其ノ内容ヲ施行令ノ第

致シテ居ルノデアリマス、

業ヲ營ム者、或ハ耕地ニ付

又ハ牧野、原野ニ付テハ永

賃借權ヲ有スル者、斯ウ云

ヲ致シテ居ルノデアリマス、

ラ只今御尋ノ果樹ノ栽培ヲ

マス者ハ、是ハ當然農業ヲ

フ風ニ解釋致シテ居リマス

○男爵淺田良逸君 左様致

バ、法ノ上カラハ是ハ耕作

コトニナルノダト思ヒマス、

方ニ依リマシテハ、普通ノ

者ト、ソレカラ密柑デア

アルトカ云ウテ、ドツチガ

主體ダカ、

寧ろ其ノ林檎ノ栽培ノ方ガ

モアルノデアリマス、サウ

ト、從來テモ他ノ方ト果樹

是ハ春デアレバ其ノ時期ガ

タリス、ソコデ從來政府

ツ田植ヲ先ニシテ、米ノ

デナケレバ林檎ノ方ヲヤ

ス、斯ウ云フヤウナコト

申ニ林檎ノ方ガ手廻レニ

布モ遅レ、バ、或ハ針通

モ出來ルト云フ譯デ、常

アルノデ困ツテ居ル狀況

ツノ農會ノ中ニ、即チ地

ノ農會ト云フツノモノガ、

農業モ果樹モ一緒ニヤル

ナツタ時ニ、其ノ地方ガ

スル場合ニハ、果樹ノ方

リ、水田ガ多クテ其ノ方

其ノ方ニ力ガ入ツテナカ

マシテモ同様デアリマス、

食糧事情ニ鑑ミテ、主食

ナケレバナラス、何デモ

ニナツテ來テ居ルケレド

モ、農業會自體ノ活動ニ

トニナリマスカラシテ、

云ツタ從來ノヤウナ行政

ガ起ツタリスルノデアリ

等ノ點ニ付テドウ云フ風

御考デアリマセウカ、一

ヤルノカ、ソレトモ別ニ

林檎ノ生産業ノ組合ト

ツテ、別途ニヤルノデア

ルカ、是等ノ點ニ付テ伺

○政府委員(楠見義男君) 御答

デマス、農業團體ニ於キ

今御述ニナリマシタヤウ

ガ從來ゴザイマシタ、

申上ゲタノデゴザイマス

ノ指導ヲ致シテ參リマス

體ニモ非常ニ迷惑ヲ掛ケ

テ之ヲ是非一本ノ農業

的ニ指導シテ實ヒタイ、

マシタ結果、色々今御

ヤウナコトガ、各部門

ツテ居ルノデゴザイ

的ニ農業經營ヲヤツテ

食糧問題ノ重大ナ時

ドウシテモ主要食糧

ト云フコトハ、現在

ムヲ得ナイ事實デ

ス、尤モ例ヘバ

又御述ニナリマシ

ナ地方ト云フヤウ

經濟ニ鑑ミマシテ

門ノ指導者トカ、

モ整ツテ居リマス

方面ニ相當力ガ

ト思フノデス、

ヤウニ、現在

テ居ル實狀デ

テモ重點ハ

肥料ノ配給等

ハ政府ト致シ

ト云フヤウナ

主要食糧ニ

最重要點ヲ

置キ

農

業

會

デ

一

括

シ

テ

仕

事

ヲ

サ

セ

マール關係上、ドウシテモ果樹アアル
トカ、サウ云フヤウナ他ノモノニハ勢
ヒ肥料ノ配給モ少クナラザルヲ得ナイ
ト云フヤウナ情勢ニナツテ居ルノデア
リマス、此ノ情勢ハ漸次肥料等ガ増産
セラレマス、自然解消スル問題デハ
ゴザイマスガ、肥料ノ苦シイ間ハド
ウシテモサウ云フ情勢ナリ事情ノ下
ニ、國ト致シマシテハ配給上ノ操作モ
加ヘテ參ラナケレバナラス、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、結局結
論ト致シマシテ各種ノ農業ノ部門ノ中
デモ、決イ意味ノ各種ノ部門ト云フモノ
ニ付キマシテハ、結局農業會ニ於テ綜
合的ニ之ヲ運営シテ參ル、サウシテ地
方地方ノ産業上ノ實情ニ即應シテ特性
ヲ發揮シテ行クヤウニ運営シテ參ル、
斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ行キタイト存
ジテ居リマス

○男爵淺田長逸君 ソレト關聯致シテ
居リマスガ、第二十七條ノ「地方農業
會ニ理事及監事ヲ置ク」是ハ一人ナ
カデセウカ、何人ナンデセウカ、ソレ
カラ其ノ次ノ第二十八條ヲ見ルト「前
項ノ規定ニ依リ理事ノ外一人ヲ限リ總
會ノ承認ヲ得テ理事ヲ選任スルコト
ヲ得」斯ウアルノデカラ前ノ二十七
條ガ數ガ多ケレバ二十八條ノ此ノ規定
ハ要ラヌヤウニ思フ、是ハ一人ノコト
デスカ、若干名ト云フ從來ノ通りノ規
定ト同ジモノデセウカ、ドウデセウカ
○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上
ゲマス、第二十七條ノ「地方農業會ニ
理事及監事ヲ置ク」ト云フ風ニ當イテ
ゴザイマスノハ、實ハ地方農業會ト申
シマスノハ、市町村農業會ト道府縣農
業會ト總稱シタ官業ニナツテ居ルノデ
ゴザイマス、ソレハ此ノ改正法ノ中ニ
ハ現ハレテ居リマセウガ、現行法ノ第

十條デ「市町村農業會及道府縣農業會
(以下地方農業會ト稱ス)」ト云フ風ニ
ナツテ居ルノデアリマス、ソデ御尋
ノ點ハ理事及監事ノ數デゴザイマス
ガ、是ハ現在通り若干名ノ限コトニ
ナツテ居リマス、二十八條ノ第二項デ
ゴザイマスガ、此ノ規定ノ趣旨ハ、只
今申シマシタ地方農業會ノ中ノ市町村
農業會ノ分デゴザイマスガ、市町村農
業會ニ於キマシテハ今則チ改正ニ依リ
マシテ、理事ハ會員ノ中カラ會員ガ選
舉スル、即チ直接選舉ノ方法デ參リタ
イト存ジテ居ルノデアリマス、道府縣
ノ方ハ此ノ二十八條ノ最後ノ方ニ「總
會ニ於テ之ヲ選任ス」トアルノデゴザ
イマスガ、市町村農業會ハ今申上ゲマ
スヤウニ、直接選舉デ行ク積リデアリ
マス、サウ致シマス此ノ農業會ノ選
舉ニ付キマシテハ、他ノ職員ノ選舉ノ
ヤウニ立候補ト云フヤウナ制度モゴザ
イマスノデ、結局選舉ノ結果選バレ
タ理事ガ決リマシテ、併シ理事ノ人々
ガ結局非常ニ忙シイ人デアリマス

トナカノ片手間ニ農業會ノ御世話ヲ焼
タナイト云フ人バカリガ選バレタト云
フヤウナコトモ想像サレルノデゴザイ
マス、尤モ斯ウ云フ場合ハサウ大シテ
多ク起ルハ考ヘマセウガ、今申シマ
スヤウニ、サウ云フ風ナ場合モ起ツチ
參ラウカト思フノデアリマス、處ガ市
町村農業會ト致シマシテハ、御承知ノ
ヤウニ色々ノ經濟事業ヲ行ツテ居リマ
スシ、特ニ信用事業ヲ致シテ居ルノデ
アリマスノデ、事業ノ分放ト致シマシ
テモ、決シテ小サイモノデハナイノデ
アリマス、從ツテ、ドウシテモ是ハ專
念シテ仕事ヲ行ク人、所謂專務
理事ト申シマスガ、サウ云フヤウナ人

モ必要ニナツテ來ルノデアリマスガ、
先程申上ゲマスヤウニ、選舉致シマ
シタ結果、サウ云フ人ガ出テ来ナイト
云フ場合モ、市町村農業會ニ於キマシ
テハ考慮サレマスノデ、其ノ場合ニ一
名ノ限ツテ此ノ總會ノ承認ヲ得テ、選
舉ノ方法ニ依リシテ理事ヲ選任出來
ルト、斯ウ云フ救済ノ規定ヲ設ケタノ
デアリマス、道府縣農業會以上ニナリ
マス、此ノ二十八條ノ第一項ノ如ク、
會員ノ中カラ會員ヲ選ブト云フヤウナ
法ヲ解釋方法モ採ツテ居リマスノデ、
適當ナル選舉ノ關係ノアル、又農業ニ
熱心ナル方デアリマスレバ、必ズシモ會
員ヲナクテモ、會員外カラモ理事及監
事ハ選ベル、是ハ現在ノ規定ニ於キマ
シテモ左様デゴザイマスガ、サウ云フ
風ナ方法ヲ採ツテ居リマスノデ、此
ノ二十八條ノ第二項ノヤウナ救済規定
ヲ設ケル必要ハナイ、唯市町村ダケハ
救済規定ヲ設ケル必要ガアルト存ジマ
シテ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリ
マス

○男爵淺田長逸君 大體ソレデ分ツタ
ノデゴザイマスガ、第二十七條ガ全體
ノ文句ニ地方農業會ニ理事及監事ヲ置
クト斯ウ直ルノデラウカ、ドウシテモ複
數デナイト非常ナ弊害ヲ惹起スルノデ
ハナイカト云フ點ヲ憂ヘテ、單ニ唯茲
ニ理事及監事ヲ置クト書イテ置ケバ一
人ト云フ場合モ起ル、其ノ時ニ色々ナ
情弊ガ發生スルコトヲウ、ソレヲドウシ
テ防ガカト云フ點ヲ憂ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ其ノ一人デアリカ
否ナク云フ問題ハ、只今初メニ御尋ネ
申上ゲマシタ其ノ地方ハ農業會デア
ルカ、或ハ果樹ヲ主體トスルカト云フコ
トニ依ツテ非常ニ又偏ルト云フコトニ
ナルノデヤナカラウカト思フノデアリ

マス、會員ノ中カラ選舉シテ理事ヲ
設ケル、其ノ理事ハ農業會デアラナレ
バ議員業者、果樹主體ノ所ナレバ果樹
業者ガ理事ニナル公算ガ多イノデア
リマス、サウナツテ參リマス、總テ主
食ヲ作ルコトニ重點ヲ置ク本來ノ農業
會リモ、サウデナイ方ノ仕事ニ、頭
數カラ、會員ノ數カラ言ツテモ、役員
ノ關係カラ言ツテモ偏リ易イカラシテ
ソレハ極ハスノデアアルカ、其ノ點ヲ同
ヒタウゴザイマス

○政府委員(補見義男君) 左様デゴザ
イマス
○男爵淺田長逸君 私人ハ其ノ一人デモ
宜カッタリスル時ニ、非常ナ弊害ガ起
ルノデヤナカラウカ、ドウシテモ複
數デナイト非常ナ弊害ヲ惹起スルノデ
ハナイカト云フ點ヲ憂ヘテ、單ニ唯茲
ニ理事及監事ヲ置クト書イテ置ケバ一
人ト云フ場合モ起ル、其ノ時ニ色々ナ
情弊ガ發生スルコトヲウ、ソレヲドウシ
テ防ガカト云フ點ヲ憂ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ其ノ一人デアリカ
否ナク云フ問題ハ、只今初メニ御尋ネ
申上ゲマシタ其ノ地方ハ農業會デア
ルカ、或ハ果樹ヲ主體トスルカト云フコ
トニ依ツテ非常ニ又偏ルト云フコトニ
ナルノデヤナカラウカト思フノデアリ

○政府委員(補見義男君) 理事及監事
ノ數ニ付キマシテハ、會則ニ於テ其ノ
數ヲ規定サシタイト存ジマスルシ、又
只今御述ニナリマシタヤウナ理事ヲ一
名ト云フヤウナコトハ、是ハ實際ノ農
業會ヲ運営シテ參リマス上ニ於キマシ
テモ、必ズシモ適當トハ存ゼラレマセ
スノデ、複數デ以テ行クヤウニ指導ヲ
シテ參リタイト考ヘテ居リマス、ソレ
カラ各産業ニ付テノ代表ト申シマス
カ、サウ云フヤウナ意味ノ御尋デゴザ
イマスガ、結局ソレハ其ノ地方デ盛
ンナ産業ニ關シマシテハ結局ソレニ從
事シテ居リマスル農民ガ多イノデア
リマスカラ、其ノ會員タル農民ノ有志
ニ基ク選舉ヲ以テマシテ選舉ヲ選任致ス
ノデゴザイマスカラ、結局ソレ等ノ人
ノ要望ヲ據ツタ理事ガ選舉サレル、斯
ウ云フコトニナルノデアリナイカト斯樣
ニ推察致ス次第デアリマス

○男爵淺田長逸君 只今ノ御答デ能ク
了解致シマシタ、次ハ馬ノ關係デゴザ
イマスガ、「養畜(馬ニ關スルモノヲ除
ク)ト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マス」ケレドモ、從來馬ト言ヘバ馬政、
馬政ト言ヘバ軍馬、總テ軍馬中心デ以
テ來テ馬ノコトガ定メラレテアリマス
ケレドモ、今後ニ於キマシテハ我が國

ハ専ラ農業ヲヤバナケレバナラヌ、農
業ニ馬ガナケレバナラヌ、馬ノ重要性
ガ益々高マル、サウシテ軍馬ト云フ如
キコトハ轉換ヲサレテ、競馬モアリマ
セウ、競馬モアリマセウケレドモ、馬ノ
主たる任務ハ農耕ト云フコトニ振向ケ
ラレタリト思ヒマス、サウナツテ來ル
ト、矢張り農業ガ馬ニ付テ關係ヲ持
ツ方ガ宜イノデヤナイカ、現實ノ問題
トシテ畜産ト云フ部類ニ飼料ノコトガ
響イテアル、馬政ノコトニ飼料ハナイ、
ソコデ「養畜(馬ニ關スルモノヲ除ク)」
ト斯ウ書イテアレバ、馬ノ飼料ハ振ハ
ナイノデアラウカ、サウ云フ風ニ色々
考ヘテ來ル時ニ、今度此ノ新情勢ニ基
イテ馬ニ關スルコトモ多分ニ農業會ノ
仕事ニ移スノガ妥當デアルト思ヒマス
クレドモ、如何デアリマスカ

○政府委員(補見義男君) 御答(申上
グマス、今同ノ農業團體法ヲ改正致シ
マスニ當ツテ馬ノ問題ヲドウスルカト
云フコトガ、只今御述ニナリマシタヤ
ウナ觀點カハ特ニ論議ヲサレマシタ、一
部カラハ是非之ヲ入レルヤウニト云フ
ヤウナ意見モゴザイマシタシ、又一部
カラハ是非ハ從來通りニスルヤウニト云
フヤウナ意見モアツタノデアリマス、我々
ト致シマシテ是等ノ點ヲ能ク檢討ヲ致
シ、又尙將來ニ研究ヲ殘ス必要ノモノ
モゴザイマシタノデ、結論ト致シマシ
テ馬關係ハ現在通りト致シタノデアリ
マス、馬ヲ除キマシタコトニ付キマシ
テハ、御述ベニナリマシタヤウニ、馬
ハ軍馬中心ノ、勿論一般畜産ニモ極メ
テ密接ナルノ不即不離ノ關係モゴザイマ
スガ、併シ又軍馬ト云フ觀點カラ相當
此ノ問題ヲ別個ニ取扱ハナケレバナラ
ヌト云フヤウナ理由モ、理由ノ中ノ一
ツノ大キナ理由ト致シマシテ、農業團

體法制制定當時ニハ馬ヲ除イテ居ツタノ
デアリマス、然ル處、此ノ終戦ニ伴ヒ
マシテ軍馬ノ關係ガナクナツテ參リマ
シタ爲ニ、馬關係ヲ別個ニ致シマシタ
理由ノ中ノ全部ト迄ハ行キマセヌデ
モ、相當大キナ理由ガ除カレタノデア
リマスカラ、此ノ方ニ入レルベキデハ
ナイカト云フ意見モ一部ニ出タコト
ハ、先程申上ゲマシタ通りデアリマ
ス、併シナガラ馬ノ問題ニ付キマシ
テハ、結局農家ハ有畜農業トシテ馬ヲ
飼ツテ居リマスル場合ニハ、馬ノ所有
者ト云フ意味デナクテ農耕ニ從事シテ
居ルト云フ意味カラ致シマシテ、當然
其ノ人ガ農業會ニ入ルノデアリマス
ガ、一面又、馬ヲ所有シテ居ルト云フ
觀點カラ別個ノ團體ニ入ルト云フコト
ニナリマス、二重ノ指導方來ルト云
フヤウナ問題モアリマスノデ、此ノ問
題ニ付テハ篤ト研究ヲ重ネ、出來ルデ
ケ早クハッキリトシタ態度デ必要ナ法
律改正ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデア
リマス、唯現在ノ儘デ參リマス、馬ニ
關スルモノヲ除ク」ト云フ此ノ條件ヲ
外シマス、專門ノ馬産業者或ハ又競
馬業者ト云フヤウナモノモ、一應ハ全
部農業會ニ入ツテ來ル建前ニナルノデ
アリマス、現在是等ノモノハ別個ニ馬
事團體ヲ形成シテ居リマスガ、ソレヲ
ナクシテシマヒマスルト、結局サウ云
フモノモ入ツテ來ル、サウ致シマスル
ト、個々ノ農家ノ馬ノ指導ト、專門的
ニ馬產ヲヤシテ居リマスル者ニ對スル
指導ト、或ハ又競馬業者ト云フモノニ
對スル指導ト云フモノモ總テ農業會デ
之ヲ取扱フコト云フコトニ付キマシテ
ハ、尙研究ヲ要スル點モアラウト思フ
ノデアリマス、ソレカラ先程申シマシ
タ一般ノ意圖ト申シマスカ、輿論ト申

シマスカ、斯ウ云フ點モハッキリトマ
ダ固マツテ居リマセヌデ、サウ云フ
ヤウナ方面ノ意圖等モ十分見据エマシ
テ、然ル後ニ此ノ問題ヲ取扱フテ行キ
タイ、是ハ畜産ノ專門業者ニ於キマシ
テモ同様ノ問題モゴザイマスノデ、サ
ウ云フコトト併セテ暫ク研究ヲシテ行
キタイ、斯ウ云フ意味デ今回ハ之ヲ改
正ノ中ニ加ヘナカッタ次第デアリマス
○男爵淺田夏逸君 他日調査研究ノ上
デ何カ又御改正ガアルヤノ御口吻ト承
ツタノデアリマスケレドモ、是ハ「馬
ニ關スルモノヲ除ク」ト斯ウ限定シテ
シマウカラ、サウデアアラウケレドモ、
農耕馬ト云フ字ヲ此處ニ用ヒテ、農耕
馬ニ關スル限リ是ハ此ノ範圍デアル、
農耕馬以外ノモノハ除クノダト、斯ウ
云フヤウニスレバ、簡單ナル明文ヲ以
テハツキリトシテ參ル、サウデナイト
「馬ニ關スルモノヲ除ク」ト云フ限リ誠
ニ是ハ不都合千萬ニナツテ來ル、即チ
飼料ハ一體誰ガ扱フノダ、馬ニ食ヘル
飼料ハ矢張り是ハ農業會ガ扱ハナケレ
バナラヌ、馬ニ關スルモノヲ除クトシ
テシマヘバ如何ニモゴチナク、モウ
ソレデチヤント極附ケラレシマウ、
之ヲ括弧ノ中ヲ改メタルコトニ依ツテ本
法ガ生きテ來ル、即チ軍馬中心主義カ
ラ農耕馬中心ト云ツテモ宜イ程我々國
ノ農業ガ非常ニ大切ニナツテ來タ、此
ノ機會ニ於テデコソ括弧ノ中ヲ農耕馬ト
云フ字ヲ以テ現シテ改メラレテ行クノ
ガ妥當ダト思ヒマスガ、如何デゴザイ
マセウカ

○政府委員(補見義男君) 御尤御意
見ト存ジマスガ、先程申上ゲマシタヤ
ウニ、馬ニ關シマシテハ別個ノ團體ガ
現在存在致シテ居リマシテ、單ニ農耕
馬ト云フデケデ、コチラノ農業會關係ノ
方ハソレデ宜イト致シマシタモ、殘ッ
タ馬事團體ニ付テ、馬ノ取扱ヲドウ云
フヤウニシテ行クカ、馬事團體ヲドウ
云フ風ニ持ツテ行クカト云フコトニ付
テノ方向ガマダハツキリト致シテ居リ
マセヌデ、結局其ノ方ノ團體ナリ、
馬ノ行政ト云フモノヲドウ云フヤウニ
持ツテ行クカト云フハツキリシタ見据
ヲ付ケテ同時ニ此ノ問題ヲ處理致シタ
イ、斯様ニ考ヘマシタノデ、今回ハ改
正ニ觸レナカッタノデゴザイマス、御
了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵淺田夏逸君 ソレナラバ此ノ法
ニハ農耕馬ニ關スルモノハコッチノ範
圍ダトシテ、其ノ外ノ法令ニ農耕馬ニ關
スルモノハ、是ハ農業團體法ニスルノ
ダトスレバ、サウナレバハツキリスル、
雙方直ク處理出來ルヤウニ思ヒマス、
此ノ點如何デゴザイマスカ

○政府委員(補見義男君) 先程申上ゲ
マシタヤウニ、此ノ問題ニ付キマシテ
ハ、獨リ馬ニ限リマセヌデ、畜産ニ付
テモ同様ノ問題ガアルノデアリマス、
ソコデ現在ハ馬ノ問題ト、ソレカラ馬
以外ノ家畜モ併セテ農林省ノ機構ヲ改
正致シマシテ畜産局ヲ設置致シタノデ
アリマスガ、獨リ馬デケラ此ノ際ニ切離
シテ考ヘズニ、併セテ他ノ畜産ニ付テ
モ同様ニ考ヘル必要ガアリマシタノ
デ、サウ云フ方面ノコトト、一般ノ畜
産ト云フモノハツキリシタ方針ノ側
面ト急ギマシテ、其ノ確立ト台セテ此
ノ問題ヲ取扱ヒマセヌト、畜産ノ中ノ
馬デケガ斯ウナリ、牛ハドウナルト云
フヤウナコトヲ合セテ考慮致シタイト
考ヘマシタ次第デゴザイマス

○男爵淺田夏逸君 牛、其ノ他ノ畜類
ニ付テ、養畜ト云フモノハ、是ハチヤ
ント農業會デアルコトニナツテ居ルノ
ダカラ、私ハ問題ハナイト思フ、「養畜
又ハ養蠶ノ業務」トハツキリ書イテア
ルカラ問題ハナイ、問題ガアルトスレ
バ、別ノ觀點カラ問題ヲ處理スルデア
リマセウケレドモ、馬ニ關シテハ、是
ハ除クノダカラシテ、全然最初カラ切
離シテ「養畜(馬ニ關スルモノヲ除ク)」
デアルカラ、今牛ノ例ヲ以テ御答ヲ戴
キマシタケレドモ、ソレハ養畜ニ關ス
ル業務ト云フモノハ農業會ノ仕事ニナ
ツテ居ルノデアリマスカラ、何モソレ
ハソレデ其ノ通り、其處デ殘ルモノハ
馬デケデ、他ノ畜類ト關聯ヲシテ考ヘル
必要ハナイデヤナイカ、ソレカラ先ハ
議論ニナリマスケレドモ、ドウデゴザ
イマセウカ、假ニ若シ私ガ申上ゲテ居
ルヤウナコトヲ斯ウキチント「馬ニ關
スルモノヲ除ク」トセズニ、何カ緩和
ヲシテ、馬ノ重要性、新時局ニ基イテ
大イニ農業會デ馬ヲ取入レテ、馬ノコ
トモ一ツ力ヲ入レテヤラナケレバナラ
ヌト云フヤウニ考ヘサセルヤウニ、極
ク簡單ニ直ルモノデセウカ、直ラヌデ
セウカ、私ハ直ルノダト思ヒマスガ、
括弧ノ中ヲ改メタルコトニ依ツテ如何デ
ゴザイマセウカ

○政府委員(補見義男君) 字句ノ修正
ニ付キマシテハ、色々ノ書方モアリ又
考ヘラレルコトト思ヒマスガ、先程申
上ゲマスヤウニ、馬以外ノ畜産ニ付テ
ハ成ル程御話ノ如ク、現在農業會デ取
扱ツテ居ルノデアリマス、併シ馬ノ問
題ヲ此ノ際取扱フコトニナリマス
ト、特ニ此ノ軍馬關係ノナクナリマシ
タ今後ニ於キマシテハ馬ト牛ト、或ハ
豚トカ鶏トカ、サウ云フ風ナ一般ノ畜
産ノ問題モ併セテ考ヘナケレバナラヌ
ヤウニナツテ參ルノデアリマス、ソコ
デ馬ノ問題ニ關シマシテ、從來ノ狀態

ヲ變更スルコト云フ際ニハ全般ノ畜産ノ問題モ併セテ考ヘタイト云フコトガ我我ノ念願デアリマス、從ヒマシテハ一般ノ畜産ノ問題ノ處理ト云フ中ニ入レテ此ノ問題ヲ研究サシテ戴キタイト存ズルノデアリマス、是ガ農林省ト致シマシテ、今回特ニ此ノ問題ニ觸レナカッタ理由デアリマス、御了承願ヒタイト思ヒマス

○男爵淺田夏逸君 只今ノ御説明デハシツカリト腑ニ落チマセヌケレドモソレナリニシマシテ、其ノ次ハ加工ト云フ言葉ト製造ト云フ言葉デアリマスガ、何カソコニハツキリトシタ分界ガアルノゴザイマセウカ、ソレハ農業者ニ於テハ農産物ノ加工ヲスルコトガ出來ル、水産業者ノ方ニ於テハ製造業者ト云フモノガアル、ソコデドウシテモ加工ト云フコトヲ製造ト云フコトト何處ニ區別ガアルカ分リマセヌ、ハツキリシタコトヲ教ヘテ願ヒタイ

○政府委員(補見義男君) 加工ト製造ノ區別デゴザイマスガ、製造ノ方ガ範圍ガ廣イ、斯ウ云フ風ニ思フテ居リマス

○男爵淺田夏逸君 サウスルト、農産物ヲ以テ何カ色々ナモノヲ作リマス、ソレハ矢張り製造業者デナクテモ農業者ガヤリ得ルコトダラウト思フノデアリマス、水産ノ方ニナリマス云フト、今度ハ製造業ト云フモノガアル限リ、漁業會ハサウスルトノ生産スルコトガ出來ナイノデアラウ、ソコデノ限度迄漁業會ガ加工スルコトガ出來ルカ、製造業者ハ何處カラ先ノ製造ヲスルノデアルカ、斯ウ云フ分界ガハツキリシテ居リマセウカ

○政府委員(從山淺太郎君) 水産業團體法ノ中ニ製造加工トアリマスガ、製造業會ノ方ハ製造ノ方ダケノ業者ヲ以テ組織スル團體デゴザイマス、今御質問ノ漁業會ハドウ云フ程度ノソレデハ製造加工ヲヤルコトガ出來ルカト云フ點デゴザイマスガ、單位漁業會ニ於キマシテハ簡單ナル加工ハ現在モ營シテ居リマスシ、又今後モ繼續スルコトト存ズルノデアリマス、例ヘバ煮干トカサウスルトヤウナモノハ、單位漁業會ノ方デ現在モ加工居ルノデアリマス

○男爵淺田夏逸君 サウスルト、農業者ノ方ハ製造業會ト云フモノガナイカラシテ、農産物ヲ以テスル各種ノ製造業ヲ營シテ宜イト云フコトニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(補見義男君) 農業者ノ方ノ指導ト致シマシテハ、其ノ會員ノ生産シタモノヲ簡單ニ加工致シマストカ、或ハソレニ他ノ必要ナ工程ヲ加ヘテ加工致シマストカ、結局會員テアル農業者ガ生産致シマシタモノヲ基礎ニ致シマシテ、ソレニ種々ノ工程ヲ加ヘテ參ル、斯ウ云フコトヲ實問題トシテ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵淺田夏逸君 サウスルト、只今ノ御説明デハ諸業ヲ營ムト云フヤウナコトモ差支アリマセヌカ

○政府委員(補見義男君) 左様デゴザイマス

○男爵淺田夏逸君 其ノ點分リマシタ、其ノ次、國民學校、青年學校、中等學校等ニ於キマシテ農園ヲ持つて居ル所モアリ、又校庭ヲ農園ニ轉換シタ所モアリマスガ、公共團體デアルカラシテ農園會ニ必ズシモ入ラナイデモ宜イノカモ知レマセヌ、入リタケレバ入レルノデセウカ、入ツタスレバ、色々其ノ農業者トシテノ義務ヲ負ハセラルルノデアルガ、是ハ公共團體デア

リマシタケレドモ、今度行政官廳ノ權限ハ縮小セラレタ譯デモアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ手放シテ自治ノ農業會ノ活動ヲ促ス、斯ウ云フコトニナツテ來タ、ソコデ學校ト云フモノハ矢張り農業會ニ關係ヲ持つて居ル方ガ便宜デアル、種子ヲ得ルニシテモ、或ハ生産、ソレカラ購買、色々ナ意味ニ於テ、農業會ニ入ツて居ル方ガ得策ナ場合ガ多イ、サウスルト風ニ考ヘテ居リマスノデ、入ラウト思ヘバ、農業ヲ營ム農園ヲ持つて居ル學校ハ入リ得ルノデアルカ、入ツタ時ニ今度ハ外ノ會員ト同様ノ義務ヲ負フベキデアルカ、此ノ點ヲモウ一遍ハツキリ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 學校ハ農業會ノ會員トハ致サセナイ積リデアリマス、併シ實際問題トシテ只今御述べニナリマシタヤウニ、色々學校ノ面カラ一般ノ農業者ヲ農業會ヲ通ジテ、或ハ直接ニ感化ト申シマスガ、指導誘掖スル場合モゴザイマセウシ、又サウデナクテ、學校ガ自給菜園トカ或ハ自給農園トカ設ケテ、其ノ爲ニ色々又農業會方面カラ助ケヲ受ケナケレバナラヌ場合、此ノ兩方ノ場合ガアラウト思フノデアリマス、從ツテ學校ニ付テハ出來ルダケ私共モ幹旋ヲ致シマシテ、後者ノ農業會カラ、地元ノ農村カラ御世話ヲ受ケナケレバナラヌヤウナ場合ニハ私共中央ハ勿論デアリマスガ、地方應ニモコトヲ其ノコトヲ話シテ、具體的ノ場合ガ當ヘバ、例ヘバ君ノ方ノ斯ウ云フ村ニ斯ウ云フ學校ガアル、是ハ斯ウ云フ總旨デ出來テ居ルノダカラ、轉ニ面倒ヲ見デヤツテ實ヒタイト云フヤウナコトヲ直接中央カラ依頼致シマシタリ、或ハ又地方ヲ通ジテ致シテ居ル

ノデアリマス、問題ハ寧ろ其ノ方ニ問題ガアルノデアリマシテ、前者ノ學校ノ施設其ノ他ガ地方ノ農村ニ對シテ非常ニ大キナ指導的役割ヲ演ジテ居ルト云フ所デハ、是ハ御所知ノ通り進ンデ農業會ナリ或ハ農民ノ方カラ學校ニ御願ヒマシテ、色々技術上ノ指導ヲシテ戴キマシタリ、其ノ他ノ御話ヲシテ戴キマスノデ、色々ナコトヲヤツテ居リマスノデ、其ノ方ノ問題ハナカラウト思ヒマス、寧ろ後者ノ方ニ問題ガアリマスノデ、只今申シマシタヤウニ色々此方カラ幹旋ヲ申上ゲ、或ハ又努力ヲ御願ヒスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ今後モ同様ニ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵淺田夏逸君 農業會デ行フ事業ノ第一項目トシテ、「指導獎勵及統制」其ノ他農業ノ整備發達ニ關スル施設、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマス、抑々農業ノ指導モ、獎勵モ、統制モ、是ハ矢張り行政官廳ニ於テモソレソレノ機關ガアツテヤツテ居ルノデアリマス、從來ト今度ノ法ノ改正トニ、文句ガ同ジデモ何カ仕事ノ上ニ變タコトガ起リマスガ、例ヘバ農業ノ指導ト云ヘバ、農業會モ指導スル、ソレカラ地方ノ行政官廳モ指導スル、獎勵モ同様ダ、統制モ同様ダ、デアルカラシテ、文句ハ變ラナイカラ、内容モ變リハナイノデセウカ、ソレドモ民主的デア

ル、ソレカラ自主的デアル、權限ヲ委譲シタト云フ際デハナイケレドモ、發榮會員ノ活動ニ大イニ期待スル、官廳ノ方ハ手ヲ引テ、手ヲ引クノデハナイカモ知レマセヌガ、從來ハ官廳ノ別働隊タル感ガアツタケレドモ、今度ハサウデヤナイ、仕事ノ内容ニ付テモ大

リマシタケレドモ、今度行政官廳ノ權限ハ縮小セラレタ譯デモアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ手放シテ自治ノ農業會ノ活動ヲ促ス、斯ウ云フコトニナツテ來タ、ソコデ學校ト云フモノハ矢張り農業會ニ關係ヲ持つて居ル方ガ便宜デアル、種子ヲ得ルニシテモ、或ハ生産、ソレカラ購買、色々ナ意味ニ於テ、農業會ニ入ツて居ル方ガ得策ナ場合ガ多イ、サウスルト風ニ考ヘテ居リマスノデ、入ラウト思ヘバ、農業ヲ營ム農園ヲ持つて居ル學校ハ入リ得ルノデアルカ、入ツタ時ニ今度ハ外ノ會員ト同様ノ義務ヲ負フベキデアルカ、此ノ點ヲモウ一遍ハツキリ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 學校ハ農業會ノ會員トハ致サセナイ積リデアリマス、併シ實際問題トシテ只今御述べニナリマシタヤウニ、色々學校ノ面カラ一般ノ農業者ヲ農業會ヲ通ジテ、或ハ直接ニ感化ト申シマスガ、指導誘掖スル場合モゴザイマセウシ、又サウデナクテ、學校ガ自給菜園トカ或ハ自給農園トカ設ケテ、其ノ爲ニ色々又農業會方面カラ助ケヲ受ケナケレバナラヌ場合、此ノ兩方ノ場合ガアラウト思フノデアリマス、從ツテ學校ニ付テハ出來ルダケ私共モ幹旋ヲ致シマシテ、後者ノ農業會カラ、地元ノ農村カラ御世話ヲ受ケナケレバナラヌヤウナ場合ニハ私共中央ハ勿論デアリマスガ、地方應ニモコトヲ其ノコトヲ話シテ、具體的ノ場合ガ當ヘバ、例ヘバ君ノ方ノ斯ウ云フ村ニ斯ウ云フ學校ガアル、是ハ斯ウ云フ總旨デ出來テ居ルノダカラ、轉ニ面倒ヲ見デヤツテ實ヒタイト云フヤウナコトヲ直接中央カラ依頼致シマシタリ、或ハ又地方ヲ通ジテ致シテ居ル

ノデアリマス、問題ハ寧ろ其ノ方ニ問題ガアルノデアリマシテ、前者ノ學校ノ施設其ノ他ガ地方ノ農村ニ對シテ非常ニ大キナ指導的役割ヲ演ジテ居ルト云フ所デハ、是ハ御所知ノ通り進ンデ農業會ナリ或ハ農民ノ方カラ學校ニ御願ヒマシテ、色々技術上ノ指導ヲシテ戴キマシタリ、其ノ他ノ御話ヲシテ戴キマスノデ、色々ナコトヲヤツテ居リマスノデ、其ノ方ノ問題ハナカラウト思ヒマス、寧ろ後者ノ方ニ問題ガアリマスノデ、只今申シマシタヤウニ色々此方カラ幹旋ヲ申上ゲ、或ハ又努力ヲ御願ヒスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ今後モ同様ニ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵淺田夏逸君 農業會デ行フ事業ノ第一項目トシテ、「指導獎勵及統制」其ノ他農業ノ整備發達ニ關スル施設、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマス、抑々農業ノ指導モ、獎勵モ、統制モ、是ハ矢張り行政官廳ニ於テモソレソレノ機關ガアツテヤツテ居ルノデアリマス、從來ト今度ノ法ノ改正トニ、文句ガ同ジデモ何カ仕事ノ上ニ變タコトガ起リマスガ、例ヘバ農業ノ指導ト云ヘバ、農業會モ指導スル、ソレカラ地方ノ行政官廳モ指導スル、獎勵モ同様ダ、統制モ同様ダ、デアルカラシテ、文句ハ變ラナイカラ、内容モ變リハナイノデセウカ、ソレドモ民主的デア

ル、ソレカラ自主的デアル、權限ヲ委譲シタト云フ際デハナイケレドモ、發榮會員ノ活動ニ大イニ期待スル、官廳ノ方ハ手ヲ引テ、手ヲ引クノデハナイカモ知レマセヌガ、從來ハ官廳ノ別働隊タル感ガアツタケレドモ、今度ハサウデヤナイ、仕事ノ内容ニ付テモ大

ノデアリマス、問題ハ寧ろ其ノ方ニ問題ガアルノデアリマシテ、前者ノ學校ノ施設其ノ他ガ地方ノ農村ニ對シテ非常ニ大キナ指導的役割ヲ演ジテ居ルト云フ所デハ、是ハ御所知ノ通り進ンデ農業會ナリ或ハ農民ノ方カラ學校ニ御願ヒマシテ、色々技術上ノ指導ヲシテ戴キマシタリ、其ノ他ノ御話ヲシテ戴キマスノデ、色々ナコトヲヤツテ居リマスノデ、其ノ方ノ問題ハナカラウト思ヒマス、寧ろ後者ノ方ニ問題ガアリマスノデ、只今申シマシタヤウニ色々此方カラ幹旋ヲ申上ゲ、或ハ又努力ヲ御願ヒスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ今後モ同様ニ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵淺田夏逸君 農業會デ行フ事業ノ第一項目トシテ、「指導獎勵及統制」其ノ他農業ノ整備發達ニ關スル施設、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマス、抑々農業ノ指導モ、獎勵モ、統制モ、是ハ矢張り行政官廳ニ於テモソレソレノ機關ガアツテヤツテ居ルノデアリマス、從來ト今度ノ法ノ改正トニ、文句ガ同ジデモ何カ仕事ノ上ニ變タコトガ起リマスガ、例ヘバ農業ノ指導ト云ヘバ、農業會モ指導スル、ソレカラ地方ノ行政官廳モ指導スル、獎勵モ同様ダ、統制モ同様ダ、デアルカラシテ、文句ハ變ラナイカラ、内容モ變リハナイノデセウカ、ソレドモ民主的デア

ル、ソレカラ自主的デアル、權限ヲ委譲シタト云フ際デハナイケレドモ、發榮會員ノ活動ニ大イニ期待スル、官廳ノ方ハ手ヲ引テ、手ヲ引クノデハナイカモ知レマセヌガ、從來ハ官廳ノ別働隊タル感ガアツタケレドモ、今度ハサウデヤナイ、仕事ノ内容ニ付テモ大

ノデアリマス、問題ハ寧ろ其ノ方ニ問題ガアルノデアリマシテ、前者ノ學校ノ施設其ノ他ガ地方ノ農村ニ對シテ非常ニ大キナ指導的役割ヲ演ジテ居ルト云フ所デハ、是ハ御所知ノ通り進ンデ農業會ナリ或ハ農民ノ方カラ學校ニ御願ヒマシテ、色々技術上ノ指導ヲシテ戴キマシタリ、其ノ他ノ御話ヲシテ戴キマスノデ、色々ナコトヲヤツテ居リマスノデ、其ノ方ノ問題ハナカラウト思ヒマス、寧ろ後者ノ方ニ問題ガアリマスノデ、只今申シマシタヤウニ色々此方カラ幹旋ヲ申上ゲ、或ハ又努力ヲ御願ヒスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ今後モ同様ニ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵淺田夏逸君 農業會デ行フ事業ノ第一項目トシテ、「指導獎勵及統制」其ノ他農業ノ整備發達ニ關スル施設、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマス、抑々農業ノ指導モ、獎勵モ、統制モ、是ハ矢張り行政官廳ニ於テモソレソレノ機關ガアツテヤツテ居ルノデアリマス、從來ト今度ノ法ノ改正トニ、文句ガ同ジデモ何カ仕事ノ上ニ變タコトガ起リマスガ、例ヘバ農業ノ指導ト云ヘバ、農業會モ指導スル、ソレカラ地方ノ行政官廳モ指導スル、獎勵モ同様ダ、統制モ同様ダ、デアルカラシテ、文句ハ變ラナイカラ、内容モ變リハナイノデセウカ、ソレドモ民主的デア

イニ農業者ノ方ニ委セル、從テ官廳ノ方ハ手ヲ引タ、斯ウ云フヤウニ範圍ニ變リガアルノデゴザイマセウカ、ドウデセウカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ申上ゲマス、事業ノ内容ニ付キマシテハ、今後ト雖モ從來ト變ラナイヤウニ存ジテ居リマス、唯之ニ對スル外カラノ壓力ト申シマス、或ハ御世話ト申シマス、斯ウ云フ點ニ付テ、從來ノ壓力ヲ減殺シ、又御世話ニ付テモ、餘リ手ヲ取リ足ヲ取ツテヤルヤウナ御世話ハ却テ組合ノ爲ニモ迷惑デアリノデ止メル、具體的ニ申シマス、例へば從來ハ會員ノ福利ニ關シテ必要ナル施設、是ハ從來ノ規定デハ第十一條ノ第二項ノ第四號ニ「農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設」、斯ウ云フモノガアツタノデアリマスガ、此ノ施設ヲ致シマスル場合ニモ、矢張り行政官廳ノ認可ヲ必要ト致シタノデアリマス、併シサウ云フヤウナ農業會ガ會員ノ爲ニ自分自身ヲ福利増進ヲヤラウト云フヤウナモノ迄、行政官廳ガ一々認可制度ヲ執ルコトハ如何ナモノカト云フヤウナコトデ削ツタノデアリマスガ、サウ云フコト以外ハ、農業會ト致シマシテハ自主的ニ從來ノ事業内容ニ包含サレテ居タルコトヲヤツテ參ルノデアリマシテ、内容ニ於テハ變ラナイト存ジテ居リマス

○男爵淺田良逸君 次ハ指揮系統ノ關係デアリマスガ、縣廳カラ道府縣ノ農業會ニ行ツテ、其ノ農業會カラ今度ハ市町村ノ農業會ニ指揮ガ行クノデアリマセウカ、ソレトモ縣廳カラ地方事務所ニ行ツテ、地方事務所カラ直チニ市町村ノ農業會ニ指令ガ行クモノデアリマセウカ、元來命令系統ノ本筋ハドウ

云フ工合ニナルノデアリマセウカ

○政府委員(補見義男君) 農業會自體ノ自治的ノ系統ト致シマシテハ、全國カラ道府縣、ソレカラ市町村ト云フ風ニ流レテ參リマス、行政系統カラ申シマス、中央カラ道府縣、ソレカラ地方事務所、市町村、斯ウ云フ風ニ別ニ參ルノデアリマス、ソレガ結局行ツタ先デ兩者ノ間ニ密接ナ關係ヲ保持スルカドウカト云フコトデアリマシテ、色々從來モ法律上ニ於テ、供出關係デハ其ノ間ノ連絡ガ不十分ナ點ガアツタノデアリマス、從テ今同モ供出方法ニ付テサウ云フ點ヲ改正致シタノデアリマスガ、ソレハ一段階ニ於テ、各機關ガ相互ニ極メテ密接ナ關係ヲ持ツヤウニ指導シテ參リタイト思フシテハ、農業ノ、特に生産方面ノ指導ト云フヤウナコトニナツテ參リマシト、ドウシテモ指導ガ暢達致シマシテ、其ノ間ニ昏迷ヲ來ス處ガアリマシト、出來ル限リ將來ノ問題ト致シマシテハ、行政官廳ハ指導ノ大綱ニ止マシテ、實施ハ擔當團體デアリマスル農業會ヲシテヤラセム、斯ウ云フヤウナ方向ニ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス

○男爵淺田良逸君 先程ノ學校ノ問題ニ戻リマスガ、學校デ物ヲ生産スル、サウスルト供出スル、ドウ位ノ供出ヲスルカナソト云フコトハ、其ノ學校農園ノ屬スル市町村農業會カラ適當ガ來ルモノデアリマセウカ、協議ヲ受ケルノデアリマセウカ、或ハ適當ガ指令セラレルモノデアリマセウカ、或ハ又ソレト反對ニ、縣廳ノ方カラ學校ニ對シテハ指令ガ來ルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○政府委員(補見義男君) 現在ノ供出割當ノ制度ハ行政系統ヲ致シテ居リマス、即チ地方官カラ地方事務所、ソレカラ市町村、サウ云フ系統ヲ參ッテ居リマス、ソレデ先程申シマシタヤウニ、市町村農業會ガ、今迄ハ全然相談ニ與ツテ居リマセウカ、色々ノ問題ガ起リマシタノデ、本年カラ密接ナ關係ヲ持ツヤウニ委員會等ヲ設ケタノデアリマスガ、兎ニ角供出ニ付キマシテハ現在ハ行政系統ヲ以テ致シテ居リマス

○片倉兼太郎君 竊ハ蠶絲業法ノ條文中ノ中デ少シ時間トスル所ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、蠶絲業法ノ第二條デアリマスルガ「蠶絲製造業ヲ營ムントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケベシ」ト書イテアリマスガ、他ノ生絲製造業ノ如キモノハ第何條ニ於テ大臣ノ許可ヲ受ケベキモノデアリカ、受ケナイデ宜イモノデアリカト云フコト一ツ御聽カセテ願フテ置キタイト思ヒマス、私共ハドウモ見當リマセウカ、初メハ第十八條ガサウ云フコトデアラウト思ヒマシタガ、命令ニ基キ事項トシテ、第十八條ノ命令事項デハ「繭短纖維製造業者ヲ指定スルコト」デアリマス、生絲製造業ハ何處ノ條文ニ出ルモノデアリカ、伺ヒタイト思ヒマス、次ニ第五條デアリマスルガ、私ハ此ノ蠶種ノ選出育成者ニ對シテ補償トカ、或ハ獎勵金ヲ出シテ戴キタイト思フノデアリマ

ス、處方昨日戴キマシタ命令事項ノ中ニ第五條ニ「育成者ニ對スル報奨ニ付テ必要ナル事項ヲ、規定スル」書イテアリマス、結構デアリマスガ、是ハ誰ガ補償ヲシテ、金ヲ御出シニナル御見込デアリマス、伺フテ置キタイト思ヒ

マス、其ノ次ガ第十五條ノ繭ノ賣買デアリマスルガ「繭ハ命令ノ定ムル所ニ依リ都道府縣ノ行方檢定ニ依ル品位ニ依ルニ非ザレバ其ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ズ」ト云フコト限定シテ居リマスガ、蠶絲製造等ニ要スル所ノ繭取引ハドウ云フ風ナコトニシテ取引ヲナサセ御見込デアリマス、之ヲ伺ヒタイト思フノデ、其ノ次ハ先程申シマシタ第十八條ハ、サウ云フコトニナツテ居リマスルカラ、第二條ト第十八條ニ依ツテ生絲製造業ナドヲ入レルモノト思ヒマシタガ、繭短纖維業デアリマスルカラ、十八條ハサウ云フ風ニ承ツテ置キマス、其ノ次ハ第二十二條デアリマスルガ、蠶絲協同組合ト云フモノハ、是ハ以前ノ產業組合蠶絲ノヤウナコトデアリマセウカ、或ハ他ニ生絲製造業トカ或ハ玉繭製造業トカ、蠶絲製造業トカ云フモノニ迄及スモノカ、一項ニアリマスル「組合員ノ生産」ト申シマスル、蠶絲業者デナケレバナラナイノデアリマスガ、「又ハ取扱ニ係ル」ト云フコトガアリマスルカラ、或ハ生絲ヲ製造スル者ガ繭ヲ持ツテ來ルト云フコトデ、生絲製造業者ノヤウナ者モ蠶絲協同組合員トシテ仕事ガ出來ルカドウカ如何デアリマス、伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラシテ此ノ二十三條デアリマスルガ本日ノ新聞ヲ見マスルヤウニ新聞ガ拜見ヲ致シマスノデアリマス、矢張り此ノ二十三條ノ蠶絲協同組合モ何等拘束セラレルコトガナクテ、聯合會ト云フヤウナモノヲ拵エテ差支ナキモノデアリマセウカ如何デセウカ、假ニ只今申上ゲマシタ蠶絲協同組合ガ二十二條ニ依ツテ生絲製造業ノヤウナモノガ、協同組合ガ出來ルトナ

レバ、第二十四條ノ七人ト云フモノハ、餘リ多クテ到底出來得ナイコトニナリハシマイカト思フノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其ノ次ハ三十一條ノ蠶絲業會ノ設立デアリマスガ、「地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ」云々トアリマス、ケレドモ、是ハ其ノ適當ノ地區デ御拵ヘニナルコトトハ存ジマスガ、此ノ場合ニ於テ會員タル資格ト云フモノハ、農業會ニ於テハ市町村ノ農業會ガ主トナリ、或ハ道府縣カ何カサウ云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、實際實行組合ノヤウナモノハ會員トスルコトハ出來得ナイモノデアリマセウカドウカト伺ヒタイト思ヒマス、尙又地區ノ蠶絲業會ト全國蠶絲業會トノ間ニ三十條ニ於ケル蠶絲業會ノ目的ヲ達スル爲ニ意見ノ相違ヲ來シタ場合ハ、地區内ニ於ケル事業者ハ非常ニ困難ガ起リハシナイカト思ヒマス、是ハ如何ニシテ御防ギニナルカ承ツテ置キタイト思ヒマス、マアソレデ私伺ヒタイト思ヒマ

ス

○政府委員(山添利作君) 蠶絲業ニ關スル許可ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ蠶絲業法ト云フ法律ニ依ツテ致スノデアリマス、其ノ蠶絲業法ハ今回何等廢止ハ致シテ居リマセウカ、ソレカラ政府ガ選出育成者カラ原蠶種ト原原蠶種デアリマスカラ提出セシメマシテ、之ヲ作ツテ配付スル爲ニ、誰ガ其ノ補償ノコトニ任ズルカ、是ハ本來カラ申セバ、政府ガ提出セシメタルノデアリマス、政府ガ自體ガアレバ非常ニ都合カ好イ譯デアリマスガ、併シ斯ウ云フコトヲ一々ノ場合ニ豫算ヲ取ルト云フ、政府ノ

レバ、第二十四條ノ七人ト云フモノハ、餘リ多クテ到底出來得ナイコトニナリハシマイカト思フノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其ノ次ハ三十一條ノ蠶絲業會ノ設立デアリマスガ、「地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ」云々トアリマス、ケレドモ、是ハ其ノ適當ノ地區デ御拵ヘニナルコトトハ存ジマスガ、此ノ場合ニ於テ會員タル資格ト云フモノハ、農業會ニ於テハ市町村ノ農業會ガ主トナリ、或ハ道府縣カ何カサウ云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、實際實行組合ノヤウナモノハ會員トスルコトハ出來得ナイモノデアリマセウカドウカト伺ヒタイト思ヒマス、尙又地區ノ蠶絲業會ト全國蠶絲業會トノ間ニ三十條ニ於ケル蠶絲業會ノ目的ヲ達スル爲ニ意見ノ相違ヲ來シタ場合ハ、地區内ニ於ケル事業者ハ非常ニ困難ガ起リハシナイカト思ヒマス、是ハ如何ニシテ御防ギニナルカ承ツテ置キタイト思ヒマス、マアソレデ私伺ヒタイト思ヒマ

ス

會計ヲ通ズルト云フコトハ、實行上非常ニ不便アリマスノデ、結局政府カラ實コト所ノ蠶絲製造業者ヲハ政府カラ府縣ニ行キ、府縣カラ其ノ蠶絲ヲ實コト所ノ蠶絲製造業者、斯ウ云フ人ニ對シテ、選出育成者ニ對シテ、一定ノ補償金額ヲ支拂フヤウナ措置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、是ハ豫算制度、會計制度ト云フモノヲサウ云フ方法デ適當ニヤツテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ蠶絲檢定ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ取引スルノガ原則デアリマスガ、種蠶ノ如キハドウスルカ、是ハ十七條ニ依ツテ主務大臣ガ其ノ必要ガナイト認メレバ、命令ヲ以テ適用ヲ除外スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマシテ、サウ云フ所デ處置ヲ致シタラ宜シイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ協同組合ノ範圍ハドウ云フ所デアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ協同組合ハ、今迄蠶絲協同施設組合ト云フ制度ガゴザイマシタガ、實ハ其ノ名前ヲ變ヘタノデゴザイマスガ、廣ク蠶絲業者ハ此ノ協同組合ヲ作ルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、從ツテ其ノ範圍モ必ズシモ今實ニ問題ニシテ居リマスノハ、種ノ組合デゴザイマスガ、ソレニ限定スルト云フ意味デハゴザイマセヌ、爲サウト思ヘバ組合蠶絲ノ如キモ是デ爲シ得ルト考ヘテ居リマスケレドモ、組合蠶絲ノコトハ又別ニ處置ヲ致シタイト云フ考デゴザイマス、ソレカラ協同組合ノ聯合會ガ出來ルカドウカ、是ハ聯合會ノ規定ハ何等設ケテゴザイマセヌ、併シ行政ノ實例ニ於キマシテハ、蠶絲協同施設組合ノ聯合會ヲ、規定ガゴザイマセヌケレドモ、今迄實際上認メテ存ツテ居リマス、此ノ行政上ノ取扱ヲ變更スルト云フ

必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ蠶絲業者ノ作ルノニ付テ蠶絲實行組合等ヲ人レテ作ルカト云フコトデゴザイマスガ、蠶絲實行組合ハ現在農業會ノ系統ニ屬シテ居ルノデアリマシテ、此ノ法律ニサウ云フモノガ入ツテ來ルト云フ所迄ハ豫想ヲ致シテ居リマス、從ツテサウ云フ問題ハ將來農業會ト云フモノニ付テ檢討セラレテ來レバ、又サウ云フ問題ガ起リ得ルカト思ヒマスケレドモ、現在及近イ將來食糧事情ガ斯ウ云フ窮乏ナ時ニ、蠶絲ノ方ガ農業會ノ方カラ分離スルト云フコトハ考ヘテ居リマス、其ノ間中ニ於キマシテハ蠶絲實行組合ガ入ルト云フコトハ法制上ニモ考ヘテ居ラナイ譯デアリマス、概ネサウ云フ程度デアリマス

○片倉兼太郎君 今一ツノ全國ノ地區トスル會同蠶絲業者トガ三十條ノ目的ノ爲ニ意見ノ相違ガ起キタ場合ニハ如何ナル御取扱ヲ願ヒマセウカ、今一ツハ此ノ二十二條デアリマスガ、蠶絲業者ガ共同組合ヲ作ルカ或ハ實行組合ガ共同組合ヲ作ルカト云フコトガ出來得ルノデセウカ、生絲製造業者ヲサウタガ蠶絲共同組合ヲ作ルカ或ハ實行組合ガ共同組合ヲ作ルカト云フコトヲ同ヒタイ

○政府委員(山添利作君) 蠶絲業者ハ中央ニ出來、又地方ニ出來ルダラウト考ヘテ居リマスガ、其ノ間意見ノ相違ガアツタ場合ニドウナルカ、是ハ實際問題トシマシテ地方ニサウ云フモノガ出來マシレバ、是ハ當然中央ノ團體ニ加入ヲ致スト考ヘテ居リマス、サウスレバ中央デ何等カ統制ヲ致シマス場合ニハ其ノ所屬シテ居ル蠶絲業者ハ中央デ決メマシタ決定ニ從フ譯デアリマシテ、恐ラク實際問題トシテ今御述

シテ、恐ラク實際問題トシテ今御述ニナリマシタヤウナコトハ起ラナイダラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙蠶絲業者ガ蠶絲共同組合ヲ作ルコトガ出來ルカドウカト云フコトハ、出來ルカ、實ハ之ノ前身デアリマス、蠶絲共同施設組合ハ、一番初メニ蠶絲業者ニ付テ作ラシタノデアリマシテ、ソレカラ出發シタノガ本來ノ元デアリマス

○片倉兼太郎君 今一ツノ地方ノ蠶絲業者ト全國ノ蠶絲業者ノコトデドウモ少シ分リ難キマスガ、只今ノ御説明デハ地方ニ出來タモノガ、全國ノ中ニ加入スルカラト云フヤウナコトニナツテ居リマスルガ、加入スル者ハ其ノ地方デ出來マシテモ、地方デ出來タ會員ガ矢張り全國ノ蠶絲業者ニ加入スベキモノデアル、其ノ團體トシテ加入スベキモノハ、農業團體ト云フ以外ノモノニハチヨツト入ルコトガ出來ナイヤウニ二十九條ニハアルノデアリマスガ、ソレデモ矢張り其ノ會ヘ加入シテ行クコトガ出來得ルモノデセウカ、如何デセウカ、同ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山添利作君) 其ノ「農業ヲ含ム」ト云フノハ計略的ニ農業團體ヲ含シタト云フコトヲ明カニシタノデアリマシテソレニ限ルコトデハゴザイマセヌ

○片倉兼太郎君 今一ツ何ヒタイト思ヒマスガ、蠶絲共同組合ト云フモノハ税金ハ納メナイデ宜イヤウニナツテ居ルト思ヒマスガ、如何デセウカ
○政府委員(山添利作君) 特別法人稅ヲ納メマス
○片倉兼太郎君 私ノ質問ハ濟ミマシタ
○白根竹介君 市町村農業會ハ今度ノ農地調整法ニ依ツテ大キナ仕事ヲナス

ヤウニナリマシタガ、農地調整法ニ依ツテ市町村農業會ガ得タ仕事ニ付テ同ト云フコトハ、農地調整法ノ委員會デ伺フノガ筋デヤナイカト思ヒマスケレドモ、併シ市町村農業會ノ仕事トスレバ從來ノコトデスカラ、此ノ場合合同テ宜シイノデスカラ、ドウデスカ
○政府委員(紅露昭君) 大臣ガ今日一時カシニ時頃迄ニ出マシテサウ云フ問題ニ付テ御答シタイト言ツテ居ルノデスカラ、其ノ時ニ願ヒタイト思ヒマス

○白根竹介君 ソレデハ外ノコトヲチヨツト
○委員長(伯爵德川宗敬君) 白根君ニ申上ゲマスガ、今總務局長ガ見エテカラノ方ガ御便宜デヤナイカト思ヒマスガ、如何デセウカ

○政府委員(紅露昭君) 此ノ際私カラ御答ヘ申シテ置キタイノデスカラ、昨日土屋子爵カラ將來財產稅ガ實施サレタ場合ニ木材ノ評價方法ニ付テノ御質問ガアリマシタ、今各省カラ委員ガ選任セラレマス、無論農業カラモ專門家ガ御入りニナルサウデアリマス、サウシテ其ノ委員會ニ於テ選任トカ或ハ評價方法或ハ納稅ノ方法、サウ云フヤウナ詳細イコトヲ研究スルコトニ相成ツテ居ルサウデアリマス、從ツテ昨日御質問ノコトハマダ決ツテ居ラナイサウデゴザイマス、是ダケ御答ヘ申シテ置キマス

○委員長(伯爵德川宗敬君) ソレデハ午前中ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、午後一時カラ農林大臣ガ御見ニシタルサウデアリマス、其ノ機會ニ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、午前中ハ是デ休憩致シマス
午後十一時二十八分休憩
午後一時十四分開會

○委員長(伯爵德川宗敬君) ソレデハ午前二引續イテ會議ヲ開キマス
○子爵土屋直君 農業團體法ノコトニ付キマシテチヨツト御尋テ致シマス、小作料ガ金納制トナリタル場合、一般地主市町村農業會役員トシテ混同シ、其ノ事實上ノ差違ノ直視ヲ避ケルコト云フコトハ、折角本選舉制度ヘノ改革ノ意義ヲ曇ラセルコトナルヤウニ思フノデアリマス、ソレデ農業會ノ役員ノ特性ト今回自分ガ考ヘマス所ハ、一、選舉制度ニ依リ眞ニ民主的ナル農民ノ農業會トシテ、又現實ニ食糧増産ニ役立ツ役員タルベキ者デ最モ適當ナル活潑ナ仕事ノ出來ル資格者ハ實際ノ耕作者デアリ、供出責任アル者デアリ、恐ラク選舉制度ノ狙ヒモ其處ニアルト推察サレルノデアリマスガ、農林當局ハ如何ナル御考デアリマスガ、然ラバソレ等ノ者ガ役員ニ選定セラレタル結果、自然供出責任完了ハ不可能トナリ、殊ニ自給肥料ヲ要シ、其ノ他各方面ノ生産條件ノ惡イ現下ノ農耕ニハ家長ガ役員ノ仕事ニ係ハリ、事業ノ計畫ヲ考ヘルガ如キコトハ絕對ニ出來ナイノデアリマス、非耕作者ナルガ故ニ保有米ヲ認メラレザルニ至ルデアラウ本案件ノ場合デハ、役員ノ職務ニ熱心ナル者程配給米ヲ戴クヤウニナツテシマフノデアリマス、然ルニ農業會デハ供出ノ各戸ヘノ割當及他方一般ノ配給事務迄其ノ從來ノ保有米ヲ取ラレ、配給制度ニ無理ヤリニ押付ケラレタ役人ガ決定配給スルノデアリマス、其ノ當然ノ結果トシテ從來非耕作者デモ田畑ヲ持テルガ故ニ保有米ヲ認メラレテ居ル時ト同ジデハ、此ノ點ニ多大ノ無理ガ實

在スルモノデアルト思フノデアリマ

ス、之ガ爲ニ或ハ最好適者ガ役員タル
コトヲ欲セズ、又農耕ニ熱心ナル田畑
ニ取替サレタ農家ノカハ役員ニナル
コトヲ止メラレトカ、本人ハ安心シ
テ職責ヲ全スルコトガ不可能ナル
ノデアリマシテ、現下ノ逼迫セル食糧
増産時代ニ與ニ獻身ナル役員ヲ得ル
コト切ナルモノガアルノデアリマス
此ノ點何カノ特別ヲ認メ、其難
ヲ排シテ適當ナル手當ヲ此ノ際議セザ
レバ不慮ノ違反行爲ノ發生ヲ防止シ難
イ、或ハ一般役員ノ誤解ノ發生、事務
ノ不活潑ヲ保シ難ク、役員ノ保有米
配給米ニズルト云フケチナコトヲシ
テ、結局角ヲ矯メテ牛ヲ殺ス結果ニナ
リハシナイカト思フノデアリマス、從
ツテ要スルニ本案ノ改正案ノ審議ニ當
リテハ、斯クノ如キ無理ヲ包藏シテ居
ルモノト考ヘマス、或ハ小作料ノ
金納制ノ期シツ、アル農地調整法ノ改
正案ノ審議ト併行シ、或ハ其ノ決定後
ニ審議致シテ方宜イヤウニ思フノデ
アリマスガ、農林當局ハ此ノ無理ヲ意
ニ介セラレズ、簡單ニ一般ト同ジ配給
ガ受ケラレルノダカラ宜イデヤナイカ
ト云フ御答ヲ爲サレ、折角ノ此ノ案ノ
審議ヲ弱體化シ取テ意トセラレナイノ
デアリカ、此ノ點ノ明瞭ナ御答辯ヲ伺
ヒタイノデアリマス

○政府委員(補見義男) 御答へ申上
ゲマス、農業者ノ經營ニ付キマシテ
ハ、是ハ他ノ團體ト同様デアリマス
ガ、特ニ人ガ中心デナケレバナラヌコ
トハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、
シコデ從來ノ役員制度ニ付キマシテ
ハ、是ハ結局農民ノ信頼ヲ得タ方ガ大
體ハナツテ居ラレルノデアリマスガ、
併シ實際ノ取扱ト致シマシテハ、總會
ヲ選任致シマシタ人ニ付テ市町村長ガ
意見書ヲ附ケマシテ、其ノ意見書ノ附
イタモノガ地方長官ノ所へ參リマシ
テ、地方長官ガソレヲ任命スルト云フ
コトニナリマシタノデ、結局異ニ名實
共ニ農民ノ輿望ヲ擔ツテ居ルカドウカ
ト云フ點ニナリマス、其ノ間非常ニ
ハツキリセヌ所ガアリマスバカリデナ
ク、寧ろ官廳ノ任命ガト云フコトニ依
リマシテ、農業者團體自身ガ團體ト
云フヤウナ非難ヲ受ケ、又農民自身モ
例ヘバ供出ヲ致シマスル上ニ於テモ、
役員ハ縣ノ任命ノ役員デアアル、我々ノ
員デハナイト云フヤウナ感ヲ持テ
マシテ、是ガ増産ナリ供出ニ少カラヌ
影響ヲ持ツテ居ル地方モアリマス、コト
ハ、御承知ノ通りデアリマス、ソコデ
此ノ點管ノ中心デアル役員、サウシテ
又會員デアル農民カラ申シマスルト、
我々ノ役員デアアル、我々ノ會長デア
リ、我々ノ副會長デアアルト云フコトヲ
ハツキリ意識サセル爲ニ、此ノ度行政
官廳ニ依リ任命制度等ヲ止メマシシテ、
其ノ農民ノ自由意思ニ基テ直接選舉ト
云フコトニナツタノデアリマス、從ヒ
マシテ是カラノ農業者ノ役員ニハ、結
局會員デアル農民ノ輿望ヲ擔ツテ御方
ガ選任セラレルモノト存ズルノデアリ
マス、我々ト致シマシテハ役員ノ資格
ニ付キマシテハ、例ヘバ耕作者ニ限ル
トカ、或ハ地主ヲ排除スルトカ、サウ
云フヤウナ制限ハ一切設ケテハゴザイ
マセヌ、結局農民ノ爲ノ農業者、其ノ
役員ト云フノデアリマス、總之會
員ノ自由意思ニ基キ其ノ輿望ノ赴ク所
ニ依ツテ役員ヲ選任サレルコトヲ期待
致シテ居ルノデアリマス、併シサウ致シ
マス結果、是ハ午前中ニモ申上ゲタ
デゴザイマスガ、此ノ輿望ヲ擔ツテ御
方ガ出ラレマスデヒトモ、色々複雑ナ

仕事ガゴザイマスノデ、ドウシテモ場
合ニ依ツテハ、又地方ニ依リマシテハ、
一人位ノ人ガ專任ノ理事トシテ選バナ
ケレバナラヌト云フヤウナ事態モ生ジ
テ參ラウカト存ジマス、特ニ例外的
ニサウ云フ救済ノ規定ヲ設ケタノデ
ザイマス、只今御述ニナリマシタ小作
料金納制ノ問題ト農業者ノ問題デアリ
マスガ、是ハ申上ゲルニモナク小作料
金納制ノ方ハ、農地制度ノ改革ト云フ
大ニナ問題カラ、自作農創設ト同時ニ
小作料金納制ノ問題ガ起ツテ參ツテ居
ルノデアリマス、此ノコトハ農業者團體
法ノ改正如何ニ拘ラズ實現セラルベキ
筋合ノモノデアリマシテ、直接此ノ農
業者ノ役員制度トハ關聯ヲ持ツテハ居
ラナイノデアリマス、併シ只今御述ニ
ナリマシタヤウナコトモ起ラウト思
フノデアリマスガ、結局ソレハ先程來申
上ゲマシタヤウナ特別理事ノ選任規
定、之ニ依ツテ救済ヲ行フコト云フ
ヤウナ行方ニシテ參リタイ、斯様ニ
考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵土屋直君 現在ノ統制ノ失
敗、閣下現狀ヲ能ク勘案サレテノ御答
ヲ存ジマス、農地調整法其ノ他
諸般ノ情勢ヲ察シマシテ、私ハ前記ノ
點ヲ強調致シマシテ、今同ハ御答告申
上ゲテ置タニ止メタイト思ツテ居リ
マス、サウシテ此ノ問題ニ付テハ、實際
本案ガ運用サレタ結果、他日ノ機會ヲ
捕ヘマシテ、又論議致シタイト思ヒマ
ス

○男爵佐竹義隆君 國有林ノ拂下ノコ
トニ付キマシテ、チヨウト御伺ヒシタ
イト思ヒマスガ……

○政府委員(紅露昭君) 今山林局長ガ
チヨウト外ノ方ニ行ツテ居リマスガ
ラ……

○男爵佐竹義隆君 ソレデハ後ニ致シ
マス

○政府委員(紅露昭君) 何デシタラ、
私カラ御答辯ガ出來ルコトナラ……

○男爵佐竹義隆君 極ク簡單ナコトデ
アリマス、農村ニ近イ、又彈藥ノ便利
デアアル小サイ地面積ノ防雪林デモナ
シ、又防風林デモナイヤウナ所ガ、伐
採サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、ア
ア云フ所ハ拂下ニナツテ、サウシテ開
墾サシテ、田トカ畑ニシマシテ食糧ノ
増産ノ方ニ一ツ役立ツヤウニシタラド
ウカト考ヘラレマスガ、サウ云フ御考
ハオアリデゴザイマスカドウカ

○政府委員(紅露昭君) 御答へ致シマ
ス、只今御質問ノヤウナ所ハ御示シノ
ヤウナ方向ヘ進ンゲ居ルサウデゴザイ
マス

○男爵佐竹義隆君 拂下スルト致シマ
スト個人デモ差支ハナイヤウナ御考ヘ
デゴザイマス

○政府委員(紅露昭君) 個人デモ宜シ
イサウデゴザイマス

○男爵佐竹義隆君 有難ウゴザイマシ
タ

○男爵淺田眞澄君 大臣ガ御見エニナ
リマシタカラ……國有林ノ拂下ノ問題
ガ只今佐竹委員カラ述べラレタノデア
リマスガ、只今ノ政府委員ノ御答デ國
有林ヲ大幅ニ是カラ民有ニ移スト云フ
御方針ガ農林省ガ御決定ニナツテ居ル
ヤウデアリマスガ、ソレバハツキリト
伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(松村謙三君) 之ニ付キマ
シテハ大幅ト申シテハドウカト存ジマ
スケレドモ、開墾適地ニ關シマスモノ
ハ、國有林ニ付キマシテハ、適地ト認
メラレルモノハ拂下ゲル考ヘラ以テマ
シテ、其ノ適地ヲ只今開拓局ト打合セ

ヲ致シテ決定ヲ致シツ、アル所デゴザ
イマス

○男爵淺田眞澄君 是ハ年來ノ問題デ
ゴザイマス、殊ニ東北地方、秋田縣、
青森縣、岩手縣等ガ最も關係ガ深い
デアリマシテ、從來盛ニ此ノ問題ヲ
論議セラレ、又各代議士ナドカラ云爲
セラレテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマ
スガ、ナカノ開墾適地ト言フモノ
ノ見解モ違ヒマセウシ、今迄ノ問題ハ
開墾適地ト云フヨリハ森林保護、治水ノ
關係カラ、開墾適地デアツテモ、一方
其ノ治水ノ關係カラソレガ行ハレヌ、
斯ウ云フヤウナコトト睨ミ合セテ、地
方民ノ思フヤウニ行カヌデ居ルヤウナ狀
態デアリマス、ケレドモ、今同此ノ終戰
ニ伴フ新事態ニ即應ジテ、從來ヨリハ
モツト積極的ニ此ノ問題ヲ御解決ナサ
ル御方針デゴザイマセウカ、モウ一遍
伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(松村謙三君) 國有林ノ造
成ニ關スル從來ノ方針ハ決シテ變ツテ
居ナイノデアリマス、併シ斯ウ云フ
場合デゴザイマス、開墾適地ニ對
シマシテハ是ハ前ト違ヒマシテ十分ノ
恩切ツタ拂下ナリ開墾ヲ致シタイ、斯
ウ云フ積リデ居ルノデアリマシテ、其
ノ地點等ニ付テ只今申述ベマシタ通り
ニ調査ヲ至急致シテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマス

○片倉兼太郎君 丁度大臣ノ御出席ヲ
戴キマシタカラ、私御役所ノ方ノドウ
云フ風ニ御撥ニナリマスカ伺ヒタイト
思フノデアリマス、昨日ノ本會議
ニ於キマシテモ、大臣カラ蠶絲業ハ我
方國經濟再建ノ上ニ於テ、又見返リ物
賣トシテ重要ナル役目ヲ果スベキモノ
デアツテ、此ノ振興ヲ圖ラナケレバナ
ラヌト云フヤウナ御話ガアツタノデア

リマス、私ハ此ノ蠶絲業ノ中デ最モ原料トナルベキ繭ノ生産ガ漸次減少シツツアルヤウナ狀況ニナツテ來タコトハ、所謂我が國民ガ食糧ト云フコトニ非常ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、桑園デアツテモ、周圍ノ桑園ニシテ中ニ野菜ナドヲ作ツテ置クト云フヤウナコトハ供出關係總テノ上ニ於テ免レルコトガ出來ルノデアリマスルノデ、如何ニシテモ食糧ガ斯ウ云フ風ニ緊迫シテ來レバ漸次桑園ハ減ツテシマフヤウナコトニナリマス、從ツテ繭其ノモノガ減リマス、減リマスレバ生絲ノ出來ルコトモ漸次減少セザルヲ得ナイヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマシテ、何ハ昨日ノ新聞ヲ見マスルト云フ統制ヲ廢止スルノ宜イ、來春カラ作付作物カラ實施シテ來タ綜合作付計畫ハ今議會デ審議中ノ農地調整法ガ成立スレバ當然廢止サレルコトニナルガ、農林省デハ其ノ後ニ於テモ農業ノ民主化推進上斯ル作付統制ハ行ハス方針ヲ執ル模樣デアル、斯ウ云フ風ニ出テ居ルノデス、從ツテ今後ハ農家ガ如何ニ國ヲ思フトシテモ、矢張り結局利益ノアル方ヘ段々移ツテ、サウシテ作物ヲ作アルト云フコトニナルコトト存ズルノデアリマスガ、私ハ之ヲ綜合供出ニシテ、サウシテ米、所謂主要食糧即チ蠶絲ト云フヤウナコトニ結び附ケテ蠶絲コトガ出來ルノデヤナイカ、只今聯合軍司令部ニモ見返リシテ生絲ヲ輸出スルコト云フ御計畫ノアルコトモ聞イテ居ルノデアリマス、從ツテ生絲ガ米ニ代ルト云フコト、是ハ當然アルノデアリマスカラ、同時ニサウ致シマスト云フト、生絲ガ米デアリ以上六米ノ供出ト同ジヤウナ割合ニ繭ヲ出シタ者ニハ其

ノ供出ヲ綜合シテ計算ニ入レルト云フヤウナコトヲ政府ハ御考ヘナサルモノデアリマセウカ、如何デセウカ、私共見マスルコト云フ、蠶絲業法ヲ廢ナラシムルコトハ、所謂繭ヲ出シタ者ハ主要食糧ヲ出シタ者ト同ジ振テスル、或ハ一石ト何貫ト云フコトハ私モ今考ヘテ居リマセウカ、或程度出來ルモノヲ兩方カラ持ツテ來タコトガ、同ジヤウニ行クヤウニシテ綜合供出ヲナサルユニガ結局農家ノ方ガ都合ガ好イノデヤナイカ、サウスレバ其ノ田ノ好ヤ、所謂耕地ニ對スル適作ナルモノヲ權エテ、サウシテヤルコトニナリハシナリカト存ジマス、其ノ邊ニ付テ大臣ハ如何ニ御覽ニナツテ居ラレカ伺ヒタイと思ヒマス、尙私ハ今度蠶絲業法ガ新シク御制定ニナルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ中ニハ第二十条ニ於テ必要ガアレバ蠶絲ノ生産トカ配給トカ消費トカ使用、價格、輸出、輸入ニ對スル統制ノコトニ對シテ命令ヲ出スコトガ出來ルト云フヤウナコトガ書イテアルノデアリマス、其ノ中ニハ價格ノ問題デアリマスガ、價格ハ御承知ノ如ク現在ノヤウナ「インフレ」傾向ノアル時ニアツテハ、餘程他ノ物價ト觀ミ合セルト申シマスガ、能ク合フヤウニシテ戴イテ、出來ルコトナラバ何時御決メテ願ツテモ、斯ウ云フ他ノ物價ガ高クナルヤウナ時ニハ、丁度局ノ鐵砲デ射タウト思ツテモ鳥ヲタメテ射ツタリマス、矢張り行ク先ヲ見テ射タナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ私ハ無論サウ云フコトハ御配慮ヲ戴イテ、御心配ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、是ハ私ノ希望トシテ附加ヘテ憶キタイト思フノデス

ガ、ドウカ其ノ邊御承知ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、先程申シマシタ綜合供出ト申シマセウカ、其ノ中ニ繭ト云フコトヲ入レルト云フコトニ付テノ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイと思フノデアリマス

○國務大臣(松村謙三君) 繭ヲ綜合供出ノ中ヘ加ヘルト云フコトニ付キマシテハ、色々考ヘテ見テ居ルノデゴザイマスガ、食糧以外ノモノデ間接ニ食糧ニナル、食糧ヲ得ル爲メニナルト云フモノヲ綜合供出ニ加ヘテ、サウシテ食糧ノ特別會計カラソレヲ出スコト云フコトハドウモ少シ不穩當ノヤウニ考ヘラレマスルノデ、マデ十分ノ結論迄ニハ達シテ居リマセウカ、困難ナノデハナカク、ソレデ今要シマスル問題ハ、養蠶業者ガ食糧ニ困ツテ居ルカラ、サウ云フコトニシテ食糧ヲ確保スルカ、然ラザレバ他ノ方法デ食糧ノ増配ヲ得タイ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、只今ソレニ付テハ色々考ヘテ居ルコトニナリマス、今モ御話ノヤウナ綜合供出ノ方ニ或ハナルカモ知レマセウカ、是モ今申シヤウナ譯デ困難性ガアリマスシ、ト申シマシテ食糧ノ増配ト云フコトニナリマス、ナカク、全國ノ養蠶者ハ大變ナ數字デアリマスノデ、色々只今協議ヲ致シ研究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ矢張り生産ヲ刺激致シマスルノハ價格ノ問題デ御示シノ通りデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ時機ヲ失シナイヤウニ、十分他ノ物價等ト觀ミ合セテ考ヘタイト思ツテ居ル譯デゴザイマス

○片倉兼太郎君 分リマシタ、ドウモ有難クゴザイマシタ

○白根竹介君 農林部中デ市町村

農業會ト云フモノハ今日ノ我國ニ於テ一番重大な使命ヲ持ツテ居ルモノト思ヒマス、國民生活ノ不安ハ一ニ懸ツテ其ノ活動如何ニ依ルト云ツテモ過言デハナイカト考ヘルノデアリマス、從ツテ此ノ最下級ノ農林團體デアアル市町村農業會ニ對スル指導監督、或ハ育成ト云フヤウナコトハ最モ大事ナコトデアリマシテ、之ニ對シテ、今日ノ時勢ニ即シテ農林大臣ハドウ云フ新タナ御考ヲ持ツテ居リマスガ、ソレヲ承リタイ

○國務大臣(松村謙三君) 御尋ノ點ハ、是ハ最モ今日デハ重大ナコトデゴザイマシテ、技術指導ノ徹底ト云フコトハ、是ハ相當ニ力ヲ注ガナクテハ増産ヲ期シ難イコトト考ヘテ居リマス、今度技術指導ノ面ニ於テ、系統的ニ一ツ踏込ンデヤツテミヨウ、斯ウ云フ考ヘ方カラ致シマシテ、昨日カノ新聞ニモ發表致シテ居リマシタガ、要點ハ今日試驗場ト云フモノト、ソレカラ技術ノ浸透ト云フコトハ全然懸離レテ居リマシテ、技術指導ノ面デ、試驗場デハ相當ノ優秀ナ成績ヲ見テ居リマシテモ、是ガ實行セラレナイ、實ノ持腐レトナツテ居リマス所ガ非常ニ多イノハ御承知ノ通りデゴザイマスカラ、試驗ノ成績ト技術トヲ結付ケテヤリタイト思ヒマシテ、各府縣ノ農業會ト縣内ノ試驗場トヲ結付ケマシテ、サウシテ其處ニ一ツノ試驗場ト申シマスガ、試驗場ト申シマスガ、サウ云フモノヲ附設シマシテ、ソシテ其處ニ技術者、篤農家等皆集メテ、其處ヲ模範ヲ示シテ、ソシテウレヲ町村ノ末端迄浸透サス、斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘテ計畫ヲ立テタ露デアリマス、試驗場ノ成績ハ試驗場ノ成績デアリマスガ、之ヲ

一般化スルコトハ、是ハ矢張り篤農家デアリマストカ、或ハ現在末端ニ接觸シテ居リマス技術者ノ經驗ニ依ツテ採入レテ初メテ實效ガ舉リマスノデ、是等ノコトヲ考ヘテ指導シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ、末端單位ニ於キマスル技術指導ガ、戰爭中ニ技術員ガ兵隊ニ行キマシタカ、工場ニ徵用サレタコト云フコトデ、技術優秀ナ者ガ非常ニ少クナツテ居リ、殘ツタ者モ亦煩瑣ナ事務ニ追ハレテ、指導ノ面ニ携ハラヌト云フコトガ非常ニ多イノデアリマシテ、是等モ人ヲ充實スルト共ニ、出來ルダケ煩瑣ナ事務カラ離レテ技術指導ノ本職ニ精勵ヲサシタイ、斯ウ云フ考ヘ方デヤツテ居ルノデゴザイマス、今度豫備金カラ恐ラク九千萬圓程度ノモノヲ出シマシテ、是ハ一ツ大仕掛ニ、是迄モヤツテ居ッタノデアリマスガ、今度ハサウ云フ方法デ徹底的ニヤリタイト思ツテ居リマス、唯茲ニ一ツノ問題ハ、農林省ノ持ツテ居ル技術ヲ排除スルヤウナ傾向ガアリマシテハ、本當ノ生産ノ妨ゲニナル點モ多イノゴザイマスカラ、是等ノコトハ過去ノ實績等ニ鑑ミマシテ、十分民間ノモノモ獨立シテ普及ヲサセル、又之ヲ指導ノ技術ノ中ニ採入レテヤルヤウニ門戸ヲ開イテヤリタイト存ジテ居リマス

○白根竹介君 只今技術面ノ方面ニ付テハ詳細ニ御話ガアリマシタガ、マダソレニ付テハ同ノコトガアリマスガ、其ノ他監督指導ト申シマスガ、只今デハ地方廳ヲ通ジテ市町村農業會ヲ指導監督シテ居ル譯デスガ、地方廳ト言ヒマスト、地方ノ經濟部長ガ直接當ル、知事ガヤル、ドウモ其ノ關係ガ前ヨリハ

餘程長クナツタウダスケレドモ、地方長官が本當ニ自分ノモノトシテ、農林關係ヲ、殊ニ此ノ農業會ノ問題ニ付テ踏込シテヤル、何ト申シマスカ、意恩ガ少し足リナイノデハナイカト思ハレルノデ、此ノ點時々色々ノ方カラ不平モ聞キマスガ、内務行政ト農林行政ト、其ノ點ニ於テ餘程緊密連絡ヲ持ツテ戴イテ、内務大臣モ或場合ニ於テハ、農林大臣ノ考ヘ方ヲ以テ地方長官ニ農業會ノ育成ヲヤツテ貰フ、又農業會ノ仕事ヲ監督指導スル立場ニナツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、其ノ邊ニ付テノ連絡等ハドウ云フヤウニ御考ニナリマスカ

○國務大臣(松村謙三君) 御指摘ノ點ハ、矢張り非常ニ地方ノ増進、其ノ他ノ徹底ニ關スル點路ニナツテ居ルノデゴザイマシテ、殊ニ經濟部長ナドガ積極ニ送りマスコト等ニ依ツテ困難ナ事情モ來ル、斯ウ云フ狀態デゴザイマス、ソレデアリマシテ内務省ト只今ハ極メテ緊密ニ聯繫ヲ取ツテ居リマシテ、總テ内務省ト打合セテ其ノ仕事ノ徹底ヲ期スル方針ノ下ニ兩省一致シテ只今ヤツテ居リマス、例ヘテ申シマスナラバ、農林省ト致シマシテモ、農林省ノ役人ガ農林省ノ机ノ上ダケニコビリ付イテ居リマシテハ本當ニ農村ノコトガ分ラナクナリマスシ、又地方ノ經濟部長ナドガ農林省ノ實情ヲ知りマセヌト、本當ニ指導スル氣分ニモナレナイヤウニ思ヒマスルノデ、先般モ内務大臣ト能ク御相談ヲ致シマシテ、約十人バカリノ經濟部長ト私ノ方ノ課長トノ入替ヲ行ツテ、サウシテ御互ニ農林省ヲ知り、地方ヲ知ルト、斯ウ云フ入替ヲヤツテ居ルノデゴザイマス、是ナゾハ將來更ニ之ヲ大規模ニヤリマシテ、

農林行政ト内務行政トノ間ニ緊密ニ連絡ヲ保ツテヤツテ行キ得ルヤウナ風ニ考ヘテ居リマス

○白根竹介君 今ノ點ハ、只今ノ御答辯ニ結構ト思ヒマスガ、一番大事ナコトデアラウト思ヒマスルノデ、地方ノ經濟部長デ其ノ道ニ非常ニ通ジテ、又活動モ出來ルヤウナ者ニ付テハ、ドウカ餘リ動かサナイヤウニ農林大臣ノ方カラ内務大臣ニ御進言ヲ爲スツテ、或ルベク其ノ位置ニ居ツテ徹底的ニ農業會ノ指導ニ當ルト云フヤウナ恰好ニ將來行キタイモノト私ハ考ヘテ居リマスガ、ドウカ御願ヒ致シマス

○米原章三君 此ハ此ノ農業團體法中改正法律案ノ閣議決定ハ要綱ヲ見マシテ、農業團體ノ民主主義化ヲ圖リ、系統農業團體ノ活動ナル自主的活動ヲ促進シ、以テ農業者ノ利益増進並ニ食糧ノ確保ニ寄與セムトスルモノトス」トアリマシテ、改正ノ要旨ハ明瞭デアリマス、唯不審ニ思ヒマスルハ、昨日白根委員、村上委員カラモ御質問ガアリマシテ、政府委員ノ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、尙了解シ難キ點ガアルノデアリマス、ソレハ農業團體法中第十條ノ「農業ニ關スル國策ニ即應シ」ト云フ、此ノ重大ナル點ヲ削除シタル事由ハ如何ナル點ニアリマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス、且又重ネテ、此ノ農業團體法及ビ水産業團體法ニハ「道府縣」トアツテ、「都」ガ抜ケテ居ル、サウシテ蠶絲業法ニハ「都道府縣」トアル、此ノ點ニ付テノ大臣ノ御説明ヲ承リタイ

○國務大臣(松村謙三君) 此ノ第十條ノ「國策ニ即應シ」ト云フヲ削リマシタコトハ色々相談モ致シタノデゴザイマスガ、是ハ此ノ團體ノ趣旨カラ中

シマシテモ、特ニ「國策ニ即應シ」ト云フヤウナコトヲ明記致シテ置キマセヌデモ、是ハ大體盛リ上ガル機構ニ變リマシタ時ニ、上カラ又「國策ニ即應シ」トスル書イテ置キマスノハ、從來トハ指導ノ方針ガ變ツテ來テ居ルノデアリマスカラ、斯ウ書イテ置キマセヌデモ、斯ウ云フ法律ニ依ツテ作ラレタ團體法ト云フコトニナリマス、勿論國ノ考ヘ方ニ即應シテ行クト云フコトニハ是ハモウ大體間違ハナカラウカラ、ソレデ戰時中ノ強イ統制、強イ國ノ意思ト云フモノリ之ニ反映スルノダト云フヤウナ感ゾノ言葉ハ削ツテ置キマシテモ、國策ニ即應セヌヤウナ、逆ノヤウナコトニハナリマス、此ノヤウニ考ヘマシテ之ヲ削ツタノデゴザイマス、從ヒマシテ茲ニ第十條中「國策ニ即應シ」ト書イテアルノヲ削ルト書イテアリマス、如何ニモ際立ツテ居リマスケレドモ、心持ハ左様デアリマセヌノデ、當然書イテ置キマセヌデモ、農業團體トシテハ國ノ最大ノ必要ニ只今ナラバ食糧問題、供出ノ點ト云フコトニ付テ十分ニ即應シテ果レルコトハ、是ハハマア心配ハナカラウ、此ノヤウニ考ヘマス、但シ何モカモ戰時ダト云フテ無理ナ押付ケ方ヲシテ國策ダト云フヤウナ考ヘ方ハ、是ハ官僚ノ獨善ニナリマス、其ノヤウナ考ヘ方ヲ此ノ農業團體ニ押シ付ケル考ハ持チマセヌケレドモ、國策ニ即應スルト云フヤウナ大綱ニ付テハ間違ハナカラウ、此ノヤウニ考ヘテ例シタ譯デアリマス、ソレカラ「都」ト云フ文字ヲ削シテアル點ニ付キマシテ、私ヨリモ局長ノ方カラ今一應御説明申上ゲルコトニ致シマス

○委員(伯耆川南榮藏君) 其ノ御答辯ハ後デ願ヒマス

○米原章三君 大體今ノ削除サレタ意味ハ分リマスケレドモ、矢張り民主主義化スル、サウシテ自主的活動ヲ爲サシメルト云フ意味ニ於テハ、戰時中ノ立法ダナク、平時ノ立法トシテハ、ア「國策ニ即應シ」ガアル方が宜イト思フノデスガ、是ハ意見ノ相違デアリマス、次ニ御尋ネシタイト思ヒマス、松村農相ハ今期議會ニ於テ、新日本再建ノ基盤トシテ健全ナル農家ヲ育成シ、農業生産力ノ發展ヲ圖リ、食糧生産確保ヲ目途トシテ、農地制度ノ根本的改革ヲ企圖セラレマシテ、農地調整法ノ劃期的改正ヲ提案セラレマシタ、昨日衆議院ヲ通過シ、今本院ニ提出セラレテ居ルノデアリマス、此ノ重大法案ガ多分茲一兩日中ニ成立スルコトト信ジテ居リマス、就キマシテハ、此ノ農地調整法ノ實施ニ當リマシテ、農相ノ企圖セラレタ農地制度ノ一大革新ヲ圓滿無碍ニ實現セラレルノ途ハ、所謂國策ニ即應シテ農業會ヲ積極的ニ活躍セシメルコトノ必要ナルコトヲ信ズルモノデアリマス、ソレハ農業會ニ課セラレタ重大ナル使命ト思フノデアリマス、私ハ此ノ點點ヨリ致シマシテ、極メテ簡潔ニ所見ヲ申上ゲマシテ、農相ノ御意見ヲ伺フテ見タイト思フノデアリマス、敗戰國日本ノ再建ノ爲ニ、無血革命トモ言フベキ此ノ農地制度ノ改革ヲ見マシテ、私ハ遺憾ナガラ未ダ完全ナルモノト申上ゲ難イノデアリマス、農地制度ノ改革ガ唯單ニ封建制度ノ遺物デアリテ地主制度ヲ撤廢スル、此ノ意味デアリマシテ、唯農地ノ再分配ヲ目途トシテ居ラレルナラバ、今同ノ方法モ一ツノ方策デアリマス、併シ農相ノ企圖セラレタ健全ナル

農家ヲ育成シ、農業生産力ヲ發展セシメテ、食糧生産ヲ確保セムトセラレルナラバ、先ヅ第一ニ農地ノ交換分合ニ依リ農地ノ整理、農道ノ建設乃至各種ノ劃期的施設ヲ行ツテ、農地ノ合理化即チ農耕地ノ國土計畫ヲ實施セラレルコトガ必要デハナイカト思ヒマス、而シテ之ヲ實施スルニ當リマシテハ、農地ヲ再分配スル以前ニ於テ、國家ガ農地ノ耕作權ヲ把握スルコトデアルト思ヒマス、即チ地主、小作、自作ヲ問ハズ總テノ農地ノ耕作權、地役權ヲ握ツテ、之ヲ運營シ全國ノ農業會ニ委嘱シテ、適正小作料ヲ制定セシメ、小作人カラハ地主ニ小作料ヲ支拂ハシメル途ヲ開キタラバ、厥後ナク解決スルノデハナイカト思ヒマス、サウシテ農業會ガ耕地ノ交換分合ト農道ノ建設ヲ完備致シマシテ、先ヅ農地ノ合理化ヲ圖ルコトガ先決問題デアリマセヌガ、御承知ノ通り日本ノ農業ハ原始的ナ農地ヲ基礎トシテ、種類大ノ狭小ナル面積ニ過大ナル家族勞力ヲ集中シ、多量ノ肥料ヲ施用シ耕作シテ居ルノガ現状デアリマス、即チ日本農業ノ特徵ハ、狭小ナル面積ニ多大ノ勞力ト多量ノ肥料ヲ以テ多量ノ收穫ヲ得、最大多數ノ人口ヲ抱擁シテ居ルコト云フコトハ、世界ニ類例ノナキ集約的農業國ナノデアリマス、而モ農地ハ原始的デ、耕地ノ整理モ全カラズ、殊ニ交換分合ヲ行ハレテ居リマセヌカラ、小作地ニ耕作スル上ニ、勞働ノ無駄ガ非常ニアリマス、即チ一家ノ農家ニ致シマシテモ、其ノ耕地ヲ東西南北ニ互ツテ居ル、東ニ一段、或ハ西ニ二段、南ニ一段、北ニ五畝、斯ウ云フ風ニ非常ニ一家ノ農家ガ耕作スル土地モ點々ト分散シテ居リマス、從ヒマシテ是ガ經營ノ止ニ非

常ノ陸路ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、從ツテ農地制度ノ改革ノ焦眉ノ問題ハ、寧ロ此ノ整理分合ニ依ル農地ノ合理化ガ先決デハナイカト思フテ居ルノデアリマス、農地所有權ノ分配ヲ考ヘラレバヨリモ、國家ガ耕作權ヲ把握シテ、農地ノ交換分合、整理スルコトニ依ツテ農地ノ合理化ト、適正農家ノ建設、即チ實際ニ農耕ノ業ニ從事スル精農ノミニ、適正ナル面積ノ耕作權ヲ與ヘルコトガ全ク適正農家建設ノ要諦デハナカラウカト思ヒマス、斯クシテ農民生活ノ安定ト、其ノ文化生活ノ向上ヲ期シ得ラレル、信ズルモノデアリマス、サウシテ農地ノ合理的ニ整理シタル上ニ、尙地主制度ガ封建制度ノ遺物トシテ存在ヲ許サナイトスルナラバ、合理化セル農地ヲ小作ニ移讓セシメテ、適正ナ農家ヲ創設スルコトガ、新日本建設ニ對スル農地制度ノ改革デハアリマス、私ハ今同提案セラレマシタ農地調整法ノ改正ハ、所謂龍ヲ養ヒテ點睛ヲ缺クテ居ラレルノ體ガアルノデアリマス、今後五箇年間ノ年月ヲ要シテ之ヲ實施セララルヨリモ、寧ロ焦眉ノ問題ハ食糧生産ノ問題デアリマス、斯クノ如キ緩慢ナル政策ヨリモ、寧ロ速カニ農地ノ整理分合ニ依ル合理化セル農地ヲ作ル、其ノ方法ハ一應國家ガ耕作權ヲ把握シテ、ソシテ合理的ナル農地ヲ作ツタ上デ分配サレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(松村謙三君) 土地制度ノ改革ニ對スル法案ヲ今同ノ臨時議會ニ出シマシタノニ付キマシテハ、是ハ耕地面積ハ多年ノ懸案デアリマス、又之ヲ此ノ儘ニ致シテ置キマスルト、色々ノ紛亂ヲ生ジ、農村ノ不安ノ狀態ヲ年ト共ニト言ヒマスガ、月日ト共ニ加ハツテ來ル危險ガアリマシテ、之ヲ社會的ニ見マシテ、穩健妥當ニ解決スルコトハ一日モ早イ方ガ宜シト考ヘタノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、多年日本ニ於テ實行シテ來リマシタ自作農創設ノ方法ヲ以テ、土地制度改革ノ要旨ト致シテ、ソシテ之ヲ現實的ニ解決致シテ行キタイ、土地ノ國有トカ、或ハ色々ノ意見モアリマスガ、サウ云フヤウナ觀念ハ一切擯テ、唯從來ノ自作農ニ對テ折衷ハス最良ノ場ニ於テ強權ヲ使フ、斯ウ云フコトデ土地制度改革ノ目的ハ一應達セラレルノデアアル、是位ノコトヲヤツテ行キマセムト、農村ノ安定ト云フモナガ日ヲ經ルニ從ツテ加ハツテ參リマシテ、其ノ結果ハ地主小作共ニ其ノ弊ヲ受ケテ來ルダラウト考ヘマス、茲ニ新シイ日本ノ出現ヲ望ムルコトモ多イと思フヤツ、譯デアリマス、ソレデ此ノ制度ニ結付ケテ、御話ノヤウナ交換分合モヤラウカト考ヘタノデアリマス、併シサウスルト餘リニ一緒ニヤツテ混濁過ギマス、ソレデ是ハ一面農地委員會デ自作農ヲ設置スル場合ニ、之ヲ其ノ村ノ實情ニ應ジテ此ノ點ヲ加味シテ、土地ノ分配ヲ決メタイ、斯ウ云フ指導ヲ農地委員會ニ致ス積リデ居リマシテゴザイマス、ソレデヤツテ見マシテ、若シモ尙且成績ガ精力ヲ背景トセネバアレナイト云フヤウナコトニナリマス、其ノ時ニハ考慮ヲ致シテ然ルベキデヤナイカト存ジマシテ、今回ノ提案ノ中ニ加ヘナカッタ、斯ウ云フヤウナコトデゴザイマス、御了承ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○米價調整三君(大隈、齋藤、三浦) マシタ、矢張り私共カ方ニ言ヘバ、今回ノ調整法ノ改正ノ際ニ、強ク交換分合ノ案ヲ採リ數カバ宜カウツト思フノミデアリマス、次ニ今一ツ細急ギノヤウデアリマス、カ方御座ル御座ル致シタリマス、殊ニ米ノ供出ニ關スル問題デアリマス、戰時中強力トル統制ノ下ニ、官廳ニ依ル供出統制ガ行ハレマシタガ、而モ戰時ガ緊迫スルニ伴ヒ、食糧事情ハ惡化シ、闇取引ハ盛ニ行ハレルニ至リマシタ、御承知ノ通りデアリマス、而モ其ノ闇取引ニ用ヒラレル數量ハ、恐クハ一丁方石ニ近イ致置デハナイカト稱ヘテ居ル者モアルノデアリマス、是ハ官廳統制ノ招來シタ現象ノ委デアルト思ヒマス、即チ供出手段、方法ニ從價ガアツタノデアリカト思フモノデアリマス、茲ニ於テ私ハ供出ノ方策ヲ官廳統制ノ枠カラ速ニ切斷シテ、農民ノ自治的統制ヲ即時斷行セラレバドウカト思フ者デアリマス、即チ戰時中ハ勝ツ爲メ供出デアリ、農民ハ其ノスローガンニ應ツテ喜ンデ供出シ居マシタノデアリマス、併シ敗戦後ノ今日ハ此ノ巧妙ノ「スローガン」ハナクナツタ、今ヤ殆ト大和民族ガ餓死線上ニ立ツテ居ル、現狀ヲ農民ノ心懸ニ懸ヘルナラバ、農民ノ同胞愛ハ湧ルシテ起ルコト思ヒマス、サウシテ私ノ提唱シタイ問題ハ、玄米ノ供出ヲ概ル供出シテ、全國ノ農業者、乃至今後發生スル想像シレマシタ農民組合ニ、脱穀機械ヲ把持セシメテ、農民各自ノ脱穀ヲ嚴禁シテシマツテ、ソシテ農業者ニ全責任ヲ持タセテ概ル供出ニ依リ農業者ガ脱穀スル、斯ウ致シマスレバ供出ハ斷テ公正ニ行ハレ、且又供出ノ額當ハ相當ノ不公平ヲ稱ヘテ居ル點ヲ完全ニ是正シ得ラレルノデアリカト思ハレルノデアリマス、サウシテ脱穀禁止シマシタ玄米ヲ再邊シテ農民ニ返シ、其ノ際ニ供出ホヲ確保スル、斯ウ云フ方法ヲ御採リナラコトガ望ミ、齋藤ト私ハ倍シテ農業者、此ノ點ニ付テ大臣ノ御意ナル御意、其ノ實現ヲ待望シテ已マナイノモノデアリマス、併シ此ノ方策ヲ實施セラレバ當リマシテハ、農民ハ自己ノ生産シタ米一粒モ存有スルコトヲ一應シナイコトニナルノデアリマシテ、一應ハ全部ヲ供出スル、此ノ點ニ對シテ御意ヲ戴キマシテ、農民ノ海邊元ノ數ハ、一特農民ニ對スル配給ヨリモ相當ニ整へ給ハスル、サウシテ農民生活ノ必需物資ノ特配、即チ農具、肥料、農具用ノ衣料乃至生鮮食料ト云フヤウナモノノ特別ノ配給ヲ考慮セラレハナラバ、農民ハ感激ヲ以テ同僚愛ニ燃エルコトガ出來、圓滿ニ自治的供出制度ガ確立スルコト思ヒマス、就キマシテハ、脱穀機械ヲ農業者ニ把持セシメテ、サウシテ自治的ニ供出セシメ、大臣ノ御意ニハナツテ居ル所謂食糧ノ綜合的自治供出ヲ農業者ニ全面的ニ責任ヲ持タシテヤルコトガ、私ハ最も適切ナル方法デアリカト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ大臣ニ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(松村謙三君) 只今御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、脱穀機械ニ付キマシテハ、少シ遲延ノゴザイマシテ、東北地方ナドニハ少シ遅レタカト思ヒマスガ、既ニ其ノ管理ヲ御話ノ通りニ農業者ニ委託シテ、サウシテ農業者ガ其ノ統制ヲシテ、サウ云フ場合ニハヤラセナイ規則ヲ出シマシテ、地方廳へ通達シテ全面的ニヤラセルコトニ致シマシタ、是ハ少シシマズ實際ガ足ラヌカモ知レマセムデ、御耳ニ入レナカッタカト思ヒマスガ既ニ御意ノ通りヤツテ居リマス、唯遲延ハス所ハ、其ノ全部ヲ政府へ一應取上ゲルト云フ所迄ハ強ク行ツテ居リマセムデ、所謂農業者ガ生産高ガ分ルヤウナ所迄ヤルコトニ致シテ居リマス、ソレカラ農業者等ヲ通ジテ必需品ノ流通コトハ、私モ地方へ通ツテ其ノ弊ヲ痛感致シテ參リマシタ、今日ノアノ物々交換ト云フヤウナモノガ總テヲ廢止シテ居リマスカラ之ニ付テハ全力ヲ擧ゲテヤラウト思ヒマシテ既ニ供出「リンク」シマシテ、肥料等モ今月迄肥料ハ地方へ六、七千「トン」モ廻シマシテ、來年ノ三月頃迄二五万「トン」バカリノモノヲ、地方農業者ヲ通ジテ供出「リンク」シタイト思ヒマス、酒モ廻シマシタ、ソレカラ農具具モ大分農業者ニ廻リヤウニ致シマシタ、斯様ニシテ御意ノヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○米價調整三君 能ク分リマシタ、實ハ概供出ノ問題ハ、本年ノ六月ニ石炭農相ニ私ハ進言シマシタ、農相モ了解サレテ、其ノ向ニ指導スルト云フ御話デアリマシタ、其ノ結果御話ノ通りニ漸次各地ニ行ツテ居リマスガ、私ノ特ニ松村農相ニ御願ヒシタイノハ、之ヲ強力ニ斷行サル、コトガ最も適正デナイカト云フ點デアリマス、今ニ中上ゲタイノハ、食糧事情ガ御承知ノヤウニ非常ニ急迫シテ居リマス、先年來甘藷、馬鈴薯ノ生産ニ付キマシテハ、國策トシテ相當強力ニ指導獎勵サレマシテ、本年ハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマス、唯私ハ數年來菊芋ノ栽培ニ付テ、甘藷、馬鈴薯ヨリモ獲セタ土地デ

ウニ承リマシタガ、詰リ權限、試験項目毎ニ付テ、モウ少シ踏ミ込ンデ、其

エ付キマシテ、之ニ付テハ書イッ居ラ
ナイト云フ點デゴザイマスガ、此ノ點

ストカ、或ハ技術ノ再訓練、ヤリ直シト申シマスカ、サウ云フヤウナコトヲ

云フコトカト云フト、忍テ其ノ國立
國體試驗場ナリ、其ノ分場ナリニ與ウ

シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ現在ノ規定ノ範圍内デモ矢張り

購買、諸君其ノ他ノ項目ガゴザイマス
ルノデ、當然出来ルト思ヒマスガ、主
ト從トノ關係ハドウシテモ國立試験場
デヤリマス以上ハ、從來ノ方法ヲ進シ
テ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○男爵淺田良造君 ソレハ人ト施設ノ
問題アリマシテ、國立試験場ノ分場
邊リニ行ツテ見ルト、實ニ其ノ規模ハ
只今ノ基礎研究ヲナサルニ十分デゴ
ザイマセウケレドモ、技師ノ數モ技手
ノ數モ至ツテ少ナイ、モウ少シ施設ヲ
添加シ、人ヲ増加スレバ本來ノ基礎研
究ニ加フルニ、只今大臣ノ仰シヤツタ
仕事ニ出来ルノデヤナカト思ヒマス
カ、左様ニシテ施設ヲ擴充シ、人ヲ増
加シ、サウシテ現實其ノ仕事ニ縣ノ方ヨ
リハ國立試験場ニイラツシヤル方ノ方ガ
優レタ御方デアリマスカラ、新タニサ
ウ云フヤウナ方面カラモ御進メニナツ
タラ宜イノデヤナカト思ヒマス、之
ニ付テ如何ナモノデゴザイマセウカト
御尋ネシテ居ル次第デアリマス

○政府委員(橋見義男君) 誠ニ御尤モナ
御尋デゴザイマシタ、是非私共モサウ
云フ方向ニ進ンデ参リタイト斯様ニ考
ヘテ居リマス
○男爵淺田良造君 其ノ次ハ、先程カ
ラ屢々多ク御方カラ論議サレマシタ
所ノ、國策ニ即應云々ト云フ言葉ヲ取
去ツタト同ジヤウナ觀點カラ致シマシ
テ、第十一條ノ「地方農業會ハ其ノ目
的ヲ達スル爲メノ事業ヲ行フコトヲ
得」ト斯ウ云フ此ノ條項ノ改正ニ於キ
マシテ、元ハ「會員ニ必要ナル農業用
物資」トカ、或ハ會員ニ必要ナル農業
用云々ト云フ特定ノ字ガ書イテアリマ
シタケレドモ、今度ハソレ等ノモノハ
削ツテシマツテ何モアリマセウカラ、
必要ナル物ノ購買ト云フコトデアレバ

何デモ彼デモ是ハ購買ヲ出来ルノデア
ラウ、又其ノ次ノ農業用資金ト云フノ
デアレバ或ハ資金ヲ貸付ケタリ、或ハ
貯金受入ノ施設ガ出来ルノデアラウ、
斯ウ云フ風ニ了解致シマシタガ、ソレ
デ宜シイノデアリマセウカ
○政府委員(橋見義男君) 多少説明ヲ
要シマスノデ、申上デテ置キタイト思
ヒマスガ、實ハ現在ノ規定デハ、是ハ
二ツニ分レテ居リマシテ、必行事業ト、
ソレカラ任意事業ト云フ風ニ分レテ居
リマシテ、必行事業ノ方デハ會員ニ必
要ナル農業用物資ノ、例ヘバ購買デア
リマスト、購買又ハ其ノ加工ト云フ
コトニナツテ居ルノデアリマス、任意
事業ノ方ニ於キマシテハ、會員ニ必要
ナル物ノ購買又ハ其ノ加工」云々ト斯
ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、
結局從來ノ産業組合時代カラ、産業組
合ト致シマシテハ、組合員ノ生産ニ必
要ナル物ト、組合員ノ日常生活ニ必要ナ
ル物ノ兩方ノ購買ヲ致シテ居ルノデア
リマス、今回ハ法文ノ趣旨ガ、前ハ
必行事業ノ場合ニハ左ノ事業ヲ行フ
ト云フ風ニアリマシテ、任意事業ノ方
デハ「左ノ事業ヲ行フコトヲ得」ト云フ
風ニ書イテアリマシタノヲ、一本ニ致
シマシテ、「左ノ事業ヲ行フコトヲ得」
ト云フ風ニ法文ヲ整理致シマシタノ
デ、從來ノ二ツノ事項ヲ一本ノ事項ト
致シマシテ書キ改メマシタカラ、斯ウ
云フ風ニナツタノデアリマス、結局此
ノ内容ハ生産用ニ必要ナル物ト、ソレ
カラ會員ノ日常生活ニ必要ナル物、此
ノ兩方ヲ含メテ居ル次第デアリマス
○男爵淺田良造君 能ク分リマシタ
○渡邊基吉君 先程來農業會ノ運営間
題ニ付キマシテ、色々御議論モアツタ
ヤウデスガ、之ニ付テ政府委員カラ御

答辯ガアリマシタヤウニ、當面ノ問題
トシマシテ、農業會ノ御家風ヲ確立ス
ルコトガ最も大切ナコトト存ジマス、
其ノ御家風ヲ確立ト申シマスガ、運営
上ノ内部統制ニ最も大キナ障害トナリ
マスモノハ、結合シタ團體ノ中ノ農會
ト産業組合ノ性格上、差違アルノデハ
ナイカト思フデアルマス、御承知ノ
ヤウニ、農業會ト結合ハ、大キク申セ
バ從來ノ農會ト産業組合トノ寄合世帯
デアリマス、ソコデ農會ハ、昨日モ御話
ガアリマシタガ、農業ノ指導方面ヲ擔
當シテ居ル農會デアリマシテ、自然其ノ
經理ハ下部組織ニ對スル限額金ト、國
庫カラノ補助金、助成金等デアリマシ
テ、即チ其ノ算定生活ヲシテ居ル農會
ハ役所ノ性格ヲ持ツテ居ルノデヤナ
イカト思ヒマス、之ニ反シマシテ産業
組合ハ經濟部門ヲ擔當致シマシテ、所
謂購買、販賣、信用、信用ノ下、主ニ算
定生活ヲシテ居ル農會トノ性格ガ
アルノデハナイカト思フデアルマス
ス、斯様ニ根本的ニ異ツタ性格ヲ持ツ
テ居ル團體ノ寄合デアリマスカラ、大
キナ問題、例ヘバ食糧ノ増産トカ、或
ハ對外ノ問題ニ付キマシテハ、兩者
ガ相一致スルノデアリマスガ、内部的
ノ個々ノ問題、或ハ事務上ノ問題トカ
ズシモ相一致シナイ場合ガアルノデア
リマス、時ニハ相對立スル場合モ多ク
アルヤウニ見受ケラレマス、此ノ性格
上ノ差違ニ依リ運営上ノ缺陷ハ全額
ナ大キナ問題ト存ジマスガ、之ニ對
スル御當局ノ御所見ナリ或ハ今後ノ運
營上ニ於ケル御教示ヲ願ヘバ仕合セ
ト存ジマス
○政府委員(橋見義男君) 御尤モナ御
意見ト思フノデアリマスガ、結局此ノ

農業會ノ二ツノ仕事デアリマスル指導
部門、ソレカラ經濟部門、是ハ實ハ煎
ジ詰マーストニシテ二ニ非ズ、結局
此ノ指導ニ致シマシテモ、生産指導
ト他作付ノ色ナ統制ノ問題ニ致シマ
シテモ、肥料、農機具等經濟事業ガ裏
打トナツテ居リマセウカ、ナカ／＼思
フヤウニ行カナイノデアリマス、又經
濟事業ノ方ノ販賣トカ、或ハ加工ト云
フコトニナリマシテモ、結局技術面ノ
色ナ指導ナリ又統制ト云フモノガ伴
ハナケレバナラナイノデゴザイマス、
從ヒマシテドウシナモ此ノ二ツノ仕事
ハ別ニセズニ一本ニシナケレバ、此ノ
食糧危機突破ノ農業會ノ大キナ任務遂
行ガ困難ハナイカト思フノデアリマ
ス、若シ之ヲ別々ニ致シマスルト、結
局農業會ノ組織、組合組織ト申シマス
ルカ、團體組織ト致シマシテハ五分五
割ノ懸念ガアルノデアリマス、其ノ間
色ナ他ノ方面ノ變動ト云フヤウナコト
モ考慮セラレルノデアリマスガ、要シ
マスルニ食糧問題ノ極メテ窮迫セル今
日ノ情勢ニ將來ノ推移ニ鑑ミマシテ
モ、是非此ノ二ツノモノハ結付ケテ參
リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、サウ致シマスル爲メハ、結局此ノ
御家風ト申シマスガ、之ニ從事スル人
人ガ、昔ノ農會系統、或ハ産業組
合系統ト云フヤウナ風ニ、依然トシテ
系統的ニ從來ノ考ヘ方ヲ持ツテ居リマ
シタリ、或ハサウ云フ考ヘ方ヲ拂拭致シ
マスル上ニ於テ障礙ニナルヤウナコト
ト考ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ今
迄採リマシタ方策ト致シマシテハ、全
體のニハ勿論、是ハ最初ニ申上デマシ
タヤウニ、總旨ヲ能ク徹底スルヤウニ
申シテ居ルノデアリマスガ、具體的ノ

障リニナル事項、例ヘバ農業會ノ豫算
經理ノ上ニ於キマシテモ、舊農會ノ人
ハ事業計畫ノ豫算ト申シマスルカ、其
ノ方デ指導部ニ屬シテ居ル其ノ費用カ
ラ俸給ヲ出ス、ソレカラ産業組合系統
ノ人ハ、經濟部ノ方カラ金ヲ出スト云
フヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ昨年ニサウ云フ人事ニ關
スルコトハ、總テ例ヘバ總務部ト云フ
ヤウナ所ニ一括シテ其ノ人ヲ指導部受
持ツ、從ツテ具體的ノ人ガ指導部デ附
ツテ居ルトカ或ハ經濟部デ附ツテ居ル
ト云フヤウナコトカラ依然トシテ舊農
會系統或ハ産業組合系統ト云フ意識ガ
殘ラナイヤウニ致シマスデアリマス、
ソレカラ上ノ方ノ團體トシマシテハ、
サウ云フコトデ指導部ノ實リヤウ
ニ色ナノ手ヲ用ヒテ居ルノデアリマス
ガ、人事變動ニ付キマシテモ、是モ前
ハ中央ニ二ツノ團體ガゴザイマシタカ
ラ、ナカ／＼面倒デゴザイマシタ、併
シ結局一本ニナリマシタノデ、此ノ一
本ニナリマスニモ結局建物ガ問題デ、
名ザリニシマシテモ別々ノ建物ニ居リ
マス、自然機和モナカ／＼困難ナノ
デアリマスガ、幸力不辛力職災デ幾ケマ
シタノデ、結局建物ヲ一本ニシタト云
フコトガ又兩方ノ意思疎通ナリ、融和
ト云フコトニ非常ニ大キナ役割ヲ演ジ
タコトト思フノデアリマス、中央デモ
サウ云フ風ニ一本ニナリ、又人事變動ニ
於キマシテモ常ニサウ云フ意識の一見
ラレバヤウナコトトナイヤウニ、特ニ
其ノ點ニハ注意ヲ拂ツテ居ルヤウデア
リマス、從ツテ形ヲ一本ニ致シマスル
ト同時ニ、實質モ一本ニナルヤウニ、
積極的ニ又消極的ニ阻礙ニナルヤウナ
コトハドン／＼之ヲ排除シテ行クト云
フヤウナ方法ヲ進ンデ居ルノデアリマ

スガ、結局是ハ此ノ方法ヲ強ク進メテ
参リマシテ、是非融和致シターツノ優
遇ノ途ヲ作ツテ参リタイ、斯様ニ考ヘ
テ居ル次第デゴザイマス

○渡邊基吉君 次ニ信用事業ニ付テ御
尋ネシタイと思ヒマス、昨日モ致字ノ
御指示ガアリマシタヤウニ、農業者ノ
信用事業ハ戰爭中ノ通貨ノ大膨脹ヲ受
ケマシテ、其ノ貯金高ハ十九年度末ニ
百二十七億ト云フ龐大ナ數字ニ上ツテ
居リマス、信用事業ハ申ス迄モナク、
文字通り信用ニ基礎ヲ置クモノデアリ
マスコトハ申ス迄モナイコトデアリマ
スガ、終戦後、ボツダムニ宣言ノ受諾ニ
依リマシテ、民主的傾向ノ昂揚ニ依ル
政黨ノ復活ノ爲ニ、從來モアリマシタ
ヤウニ、今後地方ニハ相當其ノ政黨色
ガ濃化サレモト考ヘル譯デアリマス、
サウ致シマス、農業者ハカリデ
ナシニ、各種ノ團體、例ハ工商工經濟
會ニシロ、水産會ニシロ、其ノ他色々
ノ地方ノ團體ガ政黨化サレル廣ガ
ルノデヤナイカト思フ譯デアリマス、
謂ハバ從來ノ政黨ノ弊害ト言ハレテ居
リマシタヤウニ、サウ云ツタ團體ガ所
謂政治家ノ食物ニナルヤウナ場合ガ起
キルト思フデス、處ガ農業者自體ガ
此ノ信用事業ヲ合セ行ツテ居リマス
係上、サウ云フ政治家ノ食物ニナルヤ
ウナコトガアツテハ由々シキ大群ダト
存ズル譯デアリマス、之ニ對スル御當
局ノ御見識ナリ對策ハ如何デゴザイ
マセウカ

○政府委員(橋見義男君) 御尤モナ御
尋ト存ジマスガ、實ハ此ノ信用事業ニ
付キマシテハ、戰爭前迄ハ特ニ整理檢
査ト申シマス、之ヲ喧シク厲行致シ
テ居ツタデアリマス、戰爭中特ニ交通
ノ關係ナリ或ハ人手ノ關係デ、ドチラ

カト申シマス、稍々手ガ抜ケテ居ツ
タト云フ諷刺モ免レナカッタデアリ
マス、現在ノ整理ナリサウ云ツタ方面
ノ監査ニ付キマシテハ、自治監督聯合
會ト云フモノガゴザイマシテ、此ノ自
治監督聯合會デ自治ノ監査ヲ致シマ
スルト同時ニ、ソレ以外ニ官廳ニ依ル
監査ト云フモノモナツタデアリマス
此ノ官廳ニ依ル監査ガ今申シマス
ルヤウニ、從來ハ稍々手ガ抜ケ掛ツテ
居ツタ、斯ウ云フコトニナルノデゴザ
イマスガ、御話ニナリマシタヤウニ、
今後ノ此ノ見通シト云フコトニナリマ
ス、一面カラ言フト、出來ルだけ官
廳ノ監督事務ハ減ツテ參シタデアリ
マスガ、併シ事、業務及會計ニ關スル
監査ノ問題、監査ノ問題ニナリマス、
是ハ寧ろ從來以上ニ行政官廳ノ監督權
限ヲ強化シテ參ラナクバならヌト考
ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ現在モ
法律ノ第四十三條ニ「業務及會計ニ關
シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分
ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ガ殘ツテ
居ルノデアリマスガ、是ハ飽ク迄存置
致シマスルト同時ニ、其ノ運用ハ今申
シマスルヤウニ、特ニ今後ハ強クヤツ
テ參リタイ、事經濟ニ關シ、又個々ノ農
民ノ貯蓄ニ關シ、又一般金融ニ至大
ノ影響ヲ持ツ事項デアリマス、此
ノ點ハ嚴重ニ致シテ參リタイト考ヘテ
居リマス、此ノコトハ機會アル毎
ニ今回ノ團體法ノ改正ニ於テ行政官廳
ノ權限ガ適ニ強クナルノハ、此ノ一點
デアルト云フコトヲ強調致シテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、是非サウ云フ方
法ヲ行キタイト考ヘテ居リマス

○渡邊基吉君 先程大臣カラチヨツト
御答辭ガアリマシタデアリマス、從來カ
ラ問題ニナツテ居リマス農業者用物資ヲ
農業者ヲ通ジテ一元のニ配給スル一元
配給ノ問題ハ、是ハ從來モ色々商業者
トノ關係ガ問題ニナツテ居ルヤウデス
ガ、是ハハツキリ今後ハ農業者ニ一元
配給サセルト云フヤウナ御方針デアリ
マス、其ノ點如何デセウカ

○政府委員(橋見義男君) 農業者ニ依
ル一元配給ノ問題ニ付キマシテハ實ハ
二ツノ要素ヲ含マレテ居ルノデアリマ
シテ、即チ一ツハ生産用ニ必要ナルモノ
ノ配給ト、一ツハ日常生活ニ必要ナルモノ
ノ配給ト、此ノ二ツニナツテ居ルノデアリ
マス、生産用ニ必要ナルモノ、例ハ肥料
デアリマス、農機具デアリマス、スウ
ヤウナ生産上必要ナルモノ、配給ハ現在農
業者ニ依ツテ一元配給ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、特ニ最近起リマシタ問題
ハ、生活必需品ノ配給ヲ、同時ニ農
業者デ一元配給サセツタヤウニト云フコ
トガ問題ノ中心デアツタデアリマス
一、應事務の中心デアツタデアリマ
シマシテ色々案モ立テタデアリマス
ガ、結局是ハ大キナ難關カラ特ニ戰爭
終結後、既存ノ配給業者トノ關係ニ思
ヒヲ致サレマシテ、結局此ノ問題ハ兩
者ノ間ニ於ケル農業者團體ト商業者ノ團
體トノ間ニ於ケル緊密ナル聯繫ヲ保持
スルコトニ依ツテ出來ルだけ農家ノ要
望ガ叶ヘラレルヤウニト云フコトデ、
此ノ方ノ一元化問題ハマダ實現ヲ致シ
テ居ナイノデゴザイマス、併シ最近
ノ事例ガ御覽ニナリマスヤウニ、供出
トノ關係カラ、特ニ特配物資ノ點ニ力
ヲ今入レテ居ルノデアリマス、特配物
資ノ點ニナリマス、是ハ當然然其位嚴
關デアル農業者ニ於テ取扱ヒ、集荷ト
均衡シタル、從ツテ一ツ必要物資ノ
一元化ノ問題ハ、今申シマシタヤウニ

既存ノ業者トノ關係カラ、マダ實ハ致
シテ居リマセウシ、將來モナカレ、面
倒ナ問題ダト思ヒマスガ、一方ノ特配
物資ト云フヤウナ關係カラ申シマス
ト、出來ルだけ此ノ供出ト「リンク」
制ト云フヤウナコトモ併シ考ヘマシ
テ、特ニ此ノ方面ニ力ヲ入レテ參リマ
スカ、結局農家ト致シマシテハ、其
ノ欲スル物資ヲ得ラレト云フコトニナ
ラウト思ヒマス、是等ノ物資ノ特
配量ノ増加ト云フコトニ付キマシテ、
常ニ商工省ト緊密ニ連絡ヲ執リ、又御
願ヲシテ御配慮ヲ戴イテ居ルヤウナコ
トニナツテ居リマス

○渡邊基吉君 先程質問ヲ終リマス
○侯爵大久保利謙君 先程渡田委員ノ
御質問ニ政府委員ノ御答ニナツタ、十
一條ノ改正ハ條文ノ整理ト云フコトデ
ゴザイマシタガ、其ノ中デ第十一條第
一項第二號ノ「農業者ノ統制ニ關スル施
設」ト云フノガ整理サレテ、「農業者ノ
指導獎勵及統制」ト云フコトニナツテ
居リマスガ、是ハ單ニ條文ノ整理デゴ
ザイマセウカ、或ハ先程政府委員ノ
御答ノ中ニ農業者指導ト、統制ノ統一ト
云フヤウナ言葉ガゴザイマシタガ、サ
ウ云フ統一ト云フヤウナ言葉ガ實ニ約
束ヲ持ツヤウニト云フ風ニ致シテ居ル
ノデアリマス、其ノ資金運用ニ付キマ
シテモ、戰爭中ニハ組合ノ融解制置ト
云フモノガアリマシタガ、戦後ハ之ヲ
改メマシテ、組合金融協同會ト申シテ
居リマスガ、中央銀行ニ地方ノ各府縣ニ
モ組合金融協同會ト云フモノガアリマ
シテ、是等中央銀行ニ上ラレタ後、殘リ
ノ資金ニ付キマシテ十分指導シテ
居ルノナイヤウニト云フコトデアリマ
ス、併シ是ハ非常時面デ
アリマシテ、先程申シマシタ自衛監査

ノ御話ガアリマシタガ、其ノ構成ハド
ウナツテ居リマス、果シテ之ガ有效
適切ニ監査ガ出來ルモノデアアルカドウ
カ、多少疑ガアルノデアリマスガ、其
ノ點一ツ承リタイと思ヒマス

○政府委員(橋見義男君) 農業者ノ貯
金ノ運用ノ問題デアリマスガ、是ハ結
局段々ト龐大ニナツテ參リマス、
之ガ運用ニ付テハ特ニ經濟的ノ知識ガ
豊富デアリマセウ、ナカレ、良ク思
フヤウニハ運用ガ出來ナイノデアリマ
ス、從ツテ從來致シテ居リマスル方針
ト致シマシテハ、出來得ル限リ之ヲ中
央ニ吸上ゲル、即チ資金集中策ト申シ
テ居リマス、大蔵省ノ方トモ能ク
連絡ヲ執リ、又大蔵省ノ方モサウ云フ
意向デアリマシテ、實ハ農林中央金庫
ハ大蔵大臣ト農林大臣ガ共同ニ監督ヲ
シテ居ルヤウナモノデアリマスガ、其
處ヘドシ「資金ヲ集中致シマシテ、
ソシテ中央ガ其ノ運用ヲ圖ツテ行クト
云フヤウナ方針ヲ執ツテ居リマス、從
ツテ事實貯金ノ八十パーセント、近
モノハ中央ニ吸上ゲラレテ居ル、デ
アリマス、農業者ノ中デ、是モ他格
金ノ運用ニ付キマシテハ制限ヲ設ケテ
居リマシテ、監督、或ハ確實ヲ有假證
券ヲ持ツヤウニト云フ風ニ致シテ居ル
ノデアリマス、其ノ資金運用ニ付キマ
シテモ、戰爭中ニハ組合ノ融解制置ト
云フモノガアリマシタガ、戦後ハ之ヲ
改メマシテ、組合金融協同會ト申シテ
居リマスガ、中央銀行ニ地方ノ各府縣ニ
モ組合金融協同會ト云フモノガアリマ
シテ、是等中央銀行ニ上ラレタ後、殘リ
ノ資金ニ付キマシテ十分指導シテ
居ルノナイヤウニト云フコトデアリマ
ス、併シ是ハ非常時面デ
アリマシテ、先程申シマシタ自衛監査

聯合會申シマスノハ、此ノ起リハ、前ニハ行政官廳ニ依リ監督セザルガ故イマシテ、府縣ニモ行政監督ヲ致シマスル職員ガ特ニ配置シテアルノデアリマス。府縣ガ自分ノ管内ノ産業組合ヲ監督スル、併シドウシテモ矢張り地元關係或ハ思フヤウニ行キナイ場合モ、是ハ人情ノ上カラアルコトモ察知サレマス。其ノ上ニ中央カラ直接監督ニ參ツテ居ッタノデアリマス、併シ何分ニモ全國一萬ニ近イ組合デアリマスカラナカ。中央デハ過リ兼ネル、全國一通リ廻ルノニハ或ハ五年モ掛ル、或ハモットソレ以上モ掛ルト云フコトニモナリマス。結局其ノ輔佐機關トシテ農業團體ノ相互ノ聯合會ヲ設置シテ、自治ヲ監督スル起リマシテ、最初ハ任意のデアリマシタリマスガ、之ヲ法律上ハツキリシタリマス。是ガ自治的ニ先ヅアリマシテ、ソレトハ別ニ行政官廳モ監督スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシタノガ、行政官廳ノ方ハ先程申シマシタヤウニ、戰爭中ハナカ手ガ廻リ難キタト云フ事情デアリマス。此ノ方ハ戰後特ニ力ヲ入レテ行政監督ノ方ヲヤツテ行キタイ、勿論自治監督ノ方モ殘タテ居リマス。兩方相俟ツテ此ノ農業會ノ整理ニ付テハ特ニ力ヲ入レテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス。

ト云フ點ニ付キマシテハ、木材統制法ガ非常時ニ處スル法律デアリ、サウ云フ沿革カラ致シマシテ、早晩ハ廢止ヲシナケレバナラスモノデアルト云フ點ニ我々共モ考ヘテ居リマス、唯併シ何時如何ナル時ニドウ云フ形デト云フコトハナリマス。ソレト云フ、ソレハ今日殊ニ戰災地復興其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、木材ノ需要ガ甚ダ多イノニ加ハリマシテ、海外カラ戰爭前ニ入ツテ參リマシタヤウナ木材モ入リマセヌシ、亦「バルブ」モ入リマセヌ、加フルニ樺太、並ニ北洋方面ノ木材モ入ツテ參ラナイト云フヤウナ狀態デアリマス。關係上カラ致シマシテ、木材ノ需給「バルブ」ト云フモノガ非常ニ惡化シテ參ツテ居ルト云フヤウナ譯デ、從前ニ劣ラヌ非常措置ヲ採ツテ、伐採ヲシテ參ラナケレバナラヌヤウナ事態ガ、ドウモ前途ニ横ハツテ居リヤウニ思ハレノデアリマス。從ヒマシテ單ニ撤廢ト云フヤウナ形式デハウマク其ノ間ノ調整ガ取レテ參ラナイノデアリカト云フヤウニ考ヘラレマス、彼此レ勘案致シマシテ、適當ナ措置ガ講ゼラレマス。此ノ方ハ、其ノ機會ニ於テ木材統制法ヲ或ハ廢スルト云フコトガ實現サレルカモ知レマセヌ、斯様ナ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○米原重三君 木材統制法ガ制定サレタノハ昭和十六年デアリマス。其ノ法案ノ提出ノ時ノ當局ノ説明デハ、木材統制ハ戰時立法デハナイ、恒久法デアルト云フ趣旨ニ私ハ承知シテ居リマス、又法案ハ爾ニ編マレテ居ル、唯木材統制法實施後、戰爭ガ苛烈ニナルニ伴ヒマシテ、所謂國家總動員法ノ面ニ於ケル條約、配給ノ規則ガ發布セラレテ、茲ニ木材統制法戰時ニ即應シテ、

獨制的ナ統制アル組織ニナツタト思ヒマス、唯、戰時中ハ木材ノ軍需ニ要シタ量ハ中ス迄モナク毎年一億以上デアリマス、而モ木材方面ハ國家ノ要請ニ完全ニ「バーセント」ニ應ジテ、供出ガ完了サレタ、斯ウ考ヘバ、而モ民間デハ木材統制ハ統制法中ノ惡法ト云フコト如ク宣傳サレタコトハ承知ノ通りデアリマス、併シ實際カラ言ヒマスト、木材統制ハ「統制法」ニ依ツテ完全ニ木材ガ公定價格ヲ消費サレタ、サウイフ戰時ニ即應シタ此ノ功績ハ重大トモ「バーセント」思ヒマス、木材位戰時中公定價格ヲ遵守シタモノハナイ、併シ木材業者ナリ、林業家ニ政治力ガナカッタ爲ニ、誤ラレテ「統制法」ノ所謂「惡法」ニ對シテ中材ノ供給ガ足ラナクタル爲ニ惡感ヲ放タレタコトガ、我等ハ此ノ木材統制法ガ惡法ナリト言ハレタ原因デナカト思フ、然レドモ終戰ノ結果、最近御承知ノ通り十一月二十六日「バーセント」非常處置ノ下ニ地方木材會社、機關ニ一大「バーセント」ガ加ヘラレテ、ア、處置ニ依ツテ地方木材會社ハ木材統制法ニ依ツテ存在シタル使命ハ終ツタデハナイカト思フ、サウシテアノ處置ハ私共ハ國家ノ政治的處置トシテ至極結構ト思フ、殊ニ國策ニ應ジタ地方木材會社ガアノ處置ヲ執ラレルトハ當然ト思ヒマスガ、唯其ノ方法手段ニ宜シキヲ得ナカッタ爲ニ、戰災地救済ノ爲ニ木材供出ガ最モ緊要ナ時ニ於テ、アノ非常處置ノ爲ニ恐ラカ數箇月間所期ノ木材ハ出ナイデバナリカ、昨年迄ハ「バーセント」出デ居ッタ木材ガ、石炭ト同様ニ「バーセント」出デ居ル、私共ノ想像デハ五十「バーセント」ヲ出ナイデハナイカト憂ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ局長

ノ御考ヲ承リタイ
○政府委員(黒河内達君) 戰時中ニ於ケル木材統制會社ノ成績ト云フコトニ付テハ御話ニ付キマシテハ、若干ノ非難モアツタデアリマセウガ、大體生産ニ於テ御話ノ如キ成績ヲ舉ゲ、且又統制ニ於テ概ネ御話ノ如キ成績ヲ舉ゲタト云フコトニ付テハ、私共左様ニ考ヘテ、關係業者ノ方迄ニ木材會社ノ方々ノ御努力ニ對シテハ感謝ヲ致シテ居ルモノデアリマス、去ル十一月二十六日ノ處置ニ付キマシテハ、ドウモ我々共其ノ後ハ「統制法」見マシテ、御示ノ如キ狀態ニ入ツテ居ルノデアリカト云フコトヲ感ズルモノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ今後一段ノ努力ヲ要スルモノデアルト、斯様ニ存ジマス、然ラバドウ程度ニ木材ガ出テ來ルカト云フヤウナ點ニ付テハ見込ヲ語セト云フヤウナ御話デアツタヤウニ存ジマス。之ニ付キマシテハ、戰爭ガ終結致シマスル迄ハ、今年ハ昨年ヨリハ成績ガ惡ウゴザイマシタガ、概ネ七十「バーセント」乃至八十「バーセント」或ハ北海道ノ如キハ殆ド百「バーセント」ニ近イ成績ヲ進ンデ居ッタ譯デアリマス、空襲其ノ他ノ中ニ於ケマシテ能クアレダケノ成績ヲ舉ゲ得タモノト私共モ思ツテ居ル譯デアリマス、併シナガラ戰爭ガ終ヘテ後ノ狀態ハ、是ハ戰爭終結カラ來ル非常ナ大キナ「ショック」カラ、又各般ノ事業ガ色々混亂ニ陥リ、又食糧難等ノコトニ依リマシテ、非常ニ生産ガ劣ツテ參ツタ譯デアリマシテ、三十「バーセント」三十五「バーセント」四十「バーセント」ト云フヤウナ線ヲ各府縣共通ツテ居ルヤウナ狀態デアリマシタ、尙之ニ加ヘマスルニ、其ノ後ノ再度ニ互リマスル所ノ水害ト云フヤウ

ナコトノ爲ニ、搬出ト云フヤウナコトハ、極度ニ惡化シテ參リマシテ、市場ニ出廻ル木材ト云フモノハ非常ニ少クナツタト云フヤウナ狀態ニナツタ譯デアリマス、場所ニ依リマシテハ生産モ殆ド行ハレタヤウナ所モアツタヤウナ次第デアリマス、其ノ當時既ニ統制撤廢、戰爭ガ終ヘタノ軍需用材ガ要ラナクナツタカラ、或ハ又官材モ船材モ要ラナクナツタカシト云フヤウナコトデ、モ木材ノ供給過多ニナルノデアリカト云フヤウナ宣傳モ一部分ニハ行ハレタノデアリマシテ、色々關係カラ致シマシテ、統制ヲ撤廢スルノダト云フヤウナ空氣ガ次第ニ濃化シテ參リマシテ、十一月ノ中旬ニ至リマシテハ、モウ殆ド各地共サウ云フ空氣ガ澎湃トシテ出テ居ッタト云フヤウナ狀態ニアツタヤウニ承知シテ居リマス、サウ云フヤウナ場合ニ於ケマシテ、戰災地復興ノ爲ニ已ヨリ得ジテ地方木材會社ノ手持ノ木材ノ緊急措置ヲ講ズルト同時ニ、各地ノ情勢ニ適應シマシテ、地方長官ガ一番良イト云フ處置ヲ執ルヤウニ致シテ、ソレデ生産ノ増強ヲ圖リ、且又供出ヲ致シタイ、斯様ニ存ジタ譯デアリマス、唯ソレガ所期ノ如ク成績ヲ收メナカッタコトニ付テハ、非常ニ其處ニ我々共責任ヲ感ズル次第デアリマスガ、今後尙是カラ冬山ノ生産運動ト云フヤウナモノヲ大ニ展開スルナリ致シマシテ、各方面ノ御助力ヲ得テ、幾分ナリトモ生産ヲ回復シテ、戰災地等ニ木材ヲヤリタイモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○米原重三君 今御説明デ大體了承致シマシタ、アノ非常處置ノ結果、全國ノ地方木材會社ハ休止ノ狀態デハナイ

カト思ヒマス、此ノ地方木材會社ヲ解散セシムル、然ラズンバ改組セシメル、急遽ニ其ノ處置ヲ當局ハ御執リニナル必要ハアリハセムカ、ソレニ依ツテコソ木材ノ目、アノ處置ノ儘デハ恐ラクハ所期ノ目的ハ達セラレズ、折角集荷サレタ木材ガ、矢張り山林ニ其ノ儘残ツテシマフト云フノガ實情デアリマス、之ヲ農林省ガ、地方長官ニ其ノ責任ヲ轉嫁セシムル氣分ヲ我々ハ想像シテ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル一人デアリマス、其ノ點カラ急遽ニ地方木材會社ヲ處置セラレル必要ガアルデハナイカト考ヘテ居リマス、之ニ對スル局長ノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(黑河内逕君) 責任ヲ地方長官ニ轉嫁スルト云フ御叱リヲ業ツタ譯デアリマスガ、私ハ左様ナ考ヘ持ツテ居リマセデゴザイマス、唯ソレヨリ地方木材會社ト云フモノヲ今後ドウ處理シテ行クカト云フコトニ付テハ、今日迄ノ所、是ハ單ニ日本側メケデハ決メ難キ點デアリマシテ、色々關係ノ方面ニモ打合せベキ必要モアリマシテ、今日ノ所、其ノ間ノ打合せモ致シテ居ツタ次第デアリマス、從ヒマシテ、ソレニ對シテ明確ナル指示ヲ各方面ニスルコトガ出來ナカッタト云フ事情ニアツタ譯デアリマシテ、別段態度ヲ暖味ニ致シマシテ、地方長官ニ責任ヲナスリ付ケルト云フヤウナ考ヘ持ツテ居テナカッタデアリマス、然ラバ今後ノ處置ハドウナルカト云フコト、ニナリマス、先程モ大臣カラモ御答辯申上ゲマシタヤウニ、確乎タルコトハ此ノ際申シ難キマセガ唯併シ此ノ際最モ小限度ヲ申上ゲ得ル所ハ、私共ドウ云フ風ニ是カラ木材統制ヲシテ參ルニ致シマシテモ、今日迄地方木材會社ガ案

イテ來タ地盤ト信用ト云フヤウナモノハ、是ハ出來ルダケ活用シテ參ラナケレバナラナイト存ジマス、固ヨリ地方ノ狀況ニ依リマシテ地方木材會社ノ中心ニ致スヨリモ、或ハ他ノモノヲ中心ニシテ活用シタガ生産ニ或ハ又供出ニヨリ效果ヲ得ルハ固ヨリシラニ基キテ所ニ於キマシテハ固ヨリシラニ基キベキモノト存ジマスガ、併シシナガラ一般ノニ申シマスレバ、地方木材會社ノ過去ノ地盤ト其ノ信用ト云フモノ、組織ト云フモノヲ活用シテ參ルト云フコトハ當然ノコトト存ジマスルノデ、一般的ニハ左様ナ指示ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ又假ニ萬一木材統制法ガ撤廢サレテ、地方木材會社ト云フモノガ一ツノ國策的ナ機關デアナイ時代ガ參ルト致シマシテモ、之ヲ濫リニ解散セシムルト云フヤウナ處置ハ適當デナイト存ジマスルノデ、其ノ時分ニ於キマシテハ、議會ノ御協賛ヲ得テ之ヲ法律上當然ニ商法ノ改正ナリ致シマシテ存續セシメテ、其ノ組織ノ力ヲ十分ニ活用シ得ルヤウニ致シテ參リタイモノト斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○米原重三君 今局長ノ仰セノ通り、地方木材會社ハ統制法ヨリ投ケマシテモ商會社トシテ各府縣ニ委シテ置タト云フ趣向ニサレヌト、木材ノ供出ガ非常ニ困難デアル、御承知ノ通り、東京都ヲ初メ百數十ノ都市ノ戰災ノ復興ニ要スル木材ハ、戰爭中ノ木材ヨリモヨリ以上必要デアルコトハ申上迄モアリマセヌ、恐ラク明年度モ一億以上ノ材料ガ要求セラレテ居ルコトト考ヘテレマス、其ノ點カラ此ノ嚴禁地救済ニハ木材ヲ供出セシメル必要ガアリマス、而モ今日デハ停頓狀態デアル、此ノ點

カラ致シマシテ至急ニ其ノ地方木材會社ノ生産ノ機關ヲ完備ナラシムルノ方途ヲ御執リユナルコトヲ希望致シマス、次ニ私ノ御意ニシタイノハ、造林費ノ決定單價ガ積載二百十圓、播種八十五圓百十圓、下種補正七十五圓、下刈手八十四圓、斯ツ云フコトニナツテ決定サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ガ現在ノ勞銀、資材其ノ他ノ關係デ果シテ出來得ルヤ否ヤト云フ點ニ多大ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、御意見如何デアリマスカ

○政府委員(黑河内逕君) 御答ヘ致シマス、只今ノ數字ハ實ハ半年前ノ數字デゴザイマス、其ノ當時議會デ、特ニ衆議院ノ委員會デ御決メナツタ數字デアリマス、今日ノ實情カラ申シマス、地方ニ依ツテハ是デハ適當デアナイ所ガアラウカト思ヒマス、殊ニ苗木ノ如キハ價格ヲ上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、多少場所ニ依ツテ適當デアイモノガ出テ參ルダラウト存ジマス、勢銀ノ方ニナリマス、是ハ實ハ色々見方ガゴザイマシテ、今日ノ所謂闇ト云フモノカラ申シマス、固ヨリ是デハ出來マセヌノデ、此處ハ一應公定デ行フモノト致シテノ計算デゴザイマス、併シソレモ半年前ヨリモ概ネ各地共上ツテ居リマスノデ、是モ又御話ノヤウナ狀態ガアルト存ジマス、從ヒマシテ此ノ實施ノ際ニ於キマシテハ出來ルダケ算計ノ關係其ノ他ノ關係モアリマスノデ、且此ノ恩典ガ普遍的ニ行渡ルコトヲ欲シマスルノデ、私共ト致シマシテハ出來ル限リハ、元ノ案ノ如クニ抑制シタ所ニ參リタイト存ジマス、併シナガラ之ガ實施ニ當ツテ實行困難ナ所ガアリマスレバ、其ノ時ノ狀

況ニ應ジテ善處致シテ參リタイ、斯様ニ存スル次第デアリマス

○白根竹介君 此ノ農地調整法ノ中ニアルコトデ、町村農會ニ關係シタコトヲチヨツト伺ヒタイト思ヒマス、農地調整法ノ第四條ニ「市町村農會其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ガ命令ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ要スル土地ノ取得スルノ必要アルトキハ當該土地ノ開發ニ必要ナル他ノ土地ノ使用收益ノ權利ヲ取得スルノ必要アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ」云々云々云々協議ヲ求ムルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、ドウ云フ動機ガアツタ場合ニ農會ガ斯ツ云フ發動ヲスルノデスカ、ソレカラモウ一ツ、町村モサウ云フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、例ヘバ例ヲ舉ゲテドシナ風ニ違フ場合ガアルデアリマセウカ

○政府委員(補見義男君) 此ノ方ノ法律ヲ所管致シテ居リマセヌノデ、若シ間違ツタコトヲ申上ゲルトイケマセヌノデ、農地調整法ノ關係ノ政府委員カラ別ニ御答ヘ致シタ方ガ宜イト思ヒマス

○白根竹介君 是ハ筋違ヒデアレバ私質問ヲ取止メマスケレドモ、皆サンノ御同意ヲ得テ……

○委員長(伯耆徳川宗敬君) 後續御答ヘスルサツデアリマス

○男爵倉富君 大變運ナツテ恐縮デスカ、農會團體法案ニ付テ、昨日一點デ伺ヒ漏シテ致シタ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、農會團體法ノ第二十八條ヲ拜見致シマス、道府縣農會ニハ市町村農會ノ場合ニ御認ニナツテ居ルヤウナ、

先程局長ガ特別理事ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナリマシタガ、所謂特別理事ノ御選任ハ御認メニナツテ居ナイヤウニ見ラレマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(補見義男君) 左様デゴザイマス

○男爵倉富君 其ノ特別理事ト云フヤウナモノヲ、道府縣農會ニ置ク必要ガアル場合ガゴザイマセヌデセウカ、ト申シマスノハ、道府縣農會ノ仕事ト云フモノハ、市町村農會ヨリモ大キイコトハ當然デゴザイマス、且其ノ下部組織トシテ市町村農會ト云フモノガ網羅サレテ居ルノデスカ、尙道府縣ノ事業ノ運営ガウマク行クカ行カザイカト云フコトハ、延テ其ノ下部組織デアアル市町村農會ノ發達ニモ相當影響スルノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、從來ノ產業組合ノ例ヲ見マシテモ、道府縣聯合會ノ仕事ガウマク行クカ行カザイカト云フコトガ、縣内ノ單位產業組合ノ隆昌ニ相當關係ガアツタト云フヤウニモ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ道府縣農會ノ理事ト云フ方ハ、ソレハ市町村農會ノ關係者デゴザイマスカラ、道府縣農會ノ仕事ニ專念スルト云フコトガ、實際問題トシテ相當困難デハナイカ、先程ノ御話ニモ出マシタヤウニ、道府縣農會ノ經濟事業方面殊ニ信用事業等ニ付キマシテハ、相當其ノ道ノ專門知識ノアル人ガ專ラ運籌ノ屬ニ當リ、サウシテ經理トカ會計トカヲ斷然トシテ整理シテ行クト云フコトガ必要デハナイカ、今度ノ改正ニ依リマシテ、役員ノ選任ガ自主的ニナツテ、農村ニ最モ即應シタ大方針ノ下ニ運籌サレルト云フコトハ當然ト思ヒマスケレドモ、此ノ會ノ役員ガ決メタ大方針ノ下ニ、

日常ノ業務ヲ誰カ專念シテキチンノト
ト經理シテ行クト云フコトガ道府縣農
業會ニハ、見方ニ依リマシテハ市町村
農業會ヨリモ必要デハナイカト云フヤ
ウナ氣ガスルノデアリマスガ、其ノ點
如何ゾゴザイマセウカ

○政府委員(補見義男君) 全ク御話ニ
ナリマシタト同様ナコトヲ我々モ考ヘ
テ居ルノデアリマシテ、ソレデヤドウシ
テ導ヘタカト申シマス、現在ノ市町村
農業會ノ方ハ、法文デ御覽願ヒマス
ヤウニ、會員ノ中カラ會員ガ之ヲ選舉
スル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス
ノデ、而モ選舉ニ付テハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ、立候補ト云フコトモア
リマセウシ、誰ガ出テ來ルカ分ツマ、
其ノ結果、選舉ノ蓋ヲ開ケマシタ結果、
此ノ第二十八條ノ二項ノヤウナ規定ノ
救済ヲ得ナレバナラナオ場合ガ出テ
來ヨウ、斯ウ云フヤウナコトデ此ノ規
定ガアルノデアリマスガ、道府縣農業
會ノ方ハ、此ノ理事ハ市町村農業會ト
連ヒマシテ、是ハ現在モ左様デアリマ
スガ、必ズシモ會員ノ中カラ選ビマス
ラナイ、勿論會員ノ中カラ選ビマス
ガ、ソレ以外ノ人モ、此ノ農業會ノ爲
ニ盡力願ヘル方デアレバ、是ハ總會デ
其ノ人ヲ選任スレバ、其ノ人ガ理事或
ハ監事ニナル、斯ウ云フ風ナ建前ニナ
ツテ居リマスガ、私共ト致シマシテハ、
丁度只今御述ニナリマシタヤウナコト
ガ、一層上ニナレバナル程起ツテ參ラ
ウト思フノデアリマス、從ツテ被選舉
權ト申シマスガ、被選任權ニハ制限ヲ
置カナカッタデアリマス、是ハ現在
モ左様デアリマス、將來モソレデ
行キタイト存ジマス

ト雖キタイノデスガ、只今農業團體法
ノ第二十八條ニ付テノ御覽願ガアリマ
シタガ、改正第二十八條ノ第一項ニ、
市町村農業會ニハ理事ノ選舉ニ付テ特
ニ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定メラシ
テ命令ニ御聽リニナツテアル、アレハ
ドウ云フ必要カラト、從ツテ又命令ノ
内容ハドウ云フコトヲ御定メニナル御
積リデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 此ノ命令デ
ハ選舉ノ方法、主トシテ選舉ノ方法ヲ
規定シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、即チ例ヘテ申シマス、選舉ノ管
理者ニハ誰ガナルカ、是ハ農業會ノ現
在デ申シマス、農業會ノ會長、此ノ
會則デ申シマス、理事ガ選舉ノ管理
者ニナル、ソレカラ理事ノ被選舉權ヲ
有スルモノハドウ云フ者カ、是ハ寧ロ
違ニ、例ヘバ未青年者トカ、禁治產者
トカ、準禁治產者トカ、或ハ破產者デ
復權ヲ得ザル者、斯ウ云フヤウナ者、
斯ウ云フ者以外ハ被選舉權ヲ有スル、
斯ウ云フ規定ヲ一ツ設ケタイト思ヒマ
ス、ソレカラ選舉人名簿ヲ作ラナクチ
ヤナリマセウシ、選舉人名簿ノ調製、
期日等ヲ定メタイト思ヒマス、併シ農
業會ニ於キマシテハ、現在議員名簿ガ
アルノデ、出來レバ此ノ議員名簿ヲ選
舉人名簿ニ代ヘテ居ルノデアリマス、
設ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレ以外ニハ結局現在ノ選舉法、改正
選舉法ノ例ニ倣ヒマシテ、或ハ制限連
記ノ方法ヲ採ルトカ、色々新シイ法律
ノ事例ヲ見マシテ、ソレニ即應シタ命
令ヲ實ニ定メタイト思ヒマス

○黑崎定三君 只今ノ命令ハ勅令デア
リマスガ、勅令デナイ命令デ御定メニ
ナル御老デアリマスガ

○政府委員(補見義男君) 省令デ決メ
タイト思ヒマス

○黑崎定三君 分リマシタ

○米原重三君 先刻森林資源造成ノ問
題ニ付テチヨット御伺ヒ致シマシタ
ガ、御承知ノ通り、戰時中木材ハ過伐
シタ、從ツテ森林野ハ非常ニ荒廢シテ
居ルノハ申ス迄モナイ、治水、治山ノ
面、且又平和産業確立ノ基本デアル木
材ノ生産面カラ考ヘマシテモ、急速ニ
造林ヲ徹底サレル必要ガアル、其ノ
意味ニ於テ森林資源造成法案モ生レテ
居ルデハ考ヘマスガ、先刻御示シノ程度
ノ額デハ此ノ表ニ示サレテ居ルヤウナ
豫期ノ年度計費ヲ積リマス、此ノ點
多大ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、此ノ點
ニ付テ御説明ヲ得タイト思ヒマス、且
又斯ウ云フヤウナ造林費ヲ安當ニ大減
額ト御覽願ヒテ御決定ヲ戴クコトガ出
來ルカドウカ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(黑河内達君) 只今ノ御話
ハ誠ニ御老モナク御覽願ヒタイト存ジマシ
テ、能ク大減額トテ話ヲ合ツテ、適
正ナ所ヘ持ツテ行キタイト思ヒマス、
唯大減額モナカ、舞色カアリマシ
テ、特ニ貸與ノ規定等ニ付テハ、公定
ヲ強ク言ツテ居リマス、ナカ、公定
ムツカシイコトダト存ジマスガ、尙能
ク折衝致シタイト存ジマス

○米原重三君 仰セノ通り大減額トノ
折衝ハナカ、御覽願ヒテハアルト思ヒ
マス、又、且決定シテ居ル價格ガ事
實時期ガ違フデモ、此ノ法案ガ實際ニ
實施サレテ居ナイト云フ點カラ、即時
ニ此ノ改訂ヲ認メタル、コトハ困難ト
ハ存ジマスガ、實際ニ此ノ造林計畫
ヲ徹底サセルコトハ容易デナイト思ヒ
マス、特ニ其ノ點ヲ御尋シマ
ス

○政府委員(黑河内達君) 御覽願ニ
フヤウニ出來ルデケ努力致シタイト思
ヒマス

○政府委員(補見義男君) 先づ白根サ
シカラ、農地調整法第四條ノ場合ニ於
キマシテ、農業會ガ命令ヲ以テ定ムル
自作農創設維持ノ事業ト云フノハドウ
自作農創設維持ノ事業ト云フノハドウ
云フ場合カト云フ御尋ガアツマノデア
リマスガ、調整法ノ政府委員ガチヨツ
ト今手ヲ離セマセウシ、私代リマシ
テ申上ゲマス、此ノ命令ヲ以テ定メル
自作農創設維持ノ事業ト申シマス、ハ、
現行法ノ農地調整法施行令ニ於キマシ
テモ、其ノ場合ガ具體的ニ例示シテ
ルノデアリマス、即チ個人ノ自作地ト
爲スベキ土地ノ取得ヲ輪流スルコト、
或ハ個人ノ自作地ト爲スベキ土地ノ
取得者ハ開發ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ
又ハ其ノ借受ノ斡旋ヲ爲スコト、ト、
色々一カラ十迄ノ項目ヲ列記致シテ居
リマシテ、斯ウ云フ事業ノ内容トシテ
自作農創設維持ノ事業ヤアルト云フ場
合ニ、茲ニ書イテアリマスヤウナ地方
長官ノ認可ヲ受ケテ協議ヲ求メル、斯
ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、御満足行キマシタカドウカ分リマ
セウシ、以上申述バテ置キマス

○白根竹介君 サウスルト、個人ガ自
作地ヲ求メタイト云フ時ニ、農業會ニ
其ノコトヲ申出デテ農業會ガ動カ出ス
ト云フ譯デゴザイマスガ

○政府委員(補見義男君) 左様デゴザ
イマス

○白根竹介君 ソレハ、個人ガ自作地
ヲ求メタイト云フ場合ニハ農業會ニ申
出デテモ宜シ、又市町村ニ申出デテ
モ、ドツチヘ行ツテモ宜イ譯デゴザイ
マスガ

○政府委員(補見義男君) 其ノ御話ノ
通りデゴザイマシテ、自作農創設ノ主
體ハ、市町村トカ、市町村農業會ト云フ
モノニナツテ居リマス、市町村ニ申
出デテモ宜イ譯デアリマス

○白根竹介君 ソレ協賛ガ關ツテ農
業會ガ土地ヲ持ツト云フコトニナツタ
場合ニ、農業會ガ所々土地ヲ更ニ自
作ヲ希望スル者ニ交付スル譯デスネ

○政府委員(補見義男君) 農業會ガ中
ヘ入りマシタ場合ニ、二ツアルノデア
リマスガ、今御述ベニナリマシタヤウ
ニ、創設ノ主體トシテ一應農業會ガ取
得ラシマシテ、ソレヲ更ニ自作農ニ配
分シテ行クト云フ場合ト、單ニ輪流
ケ致シマシテ、直接地主ト小作人トノ
間デ話ヲ進メルヤウニ輪流スル、ト
云フ二ツノ場合ガアル譯デアリマス

○白根竹介君 サウスルト、農業會ト
云フモノハ受動的デアツテ、能動的ニ
自作進シテ土地ヲ取ツテ或小作人ニ與
ヘルト云フヤウナコトハナイデゴザ
イマスガ

○政府委員(補見義男君) 大體受動的
ニ農業會ハ動カモノト、斯樣ニ承知致
シテ居リマス

○委員長(伯耆德川宗義君) 此ノ際御
諸リ致シマスガ、大分時間モ經テマシ
タガ、尙今日マダ引續イテ御審議ヲ進
メラレマスガ、ソレトモ今日ハ此ノ程
度デ打切りマシテ、又明日モウ一度委
員會ヲ開キマスガ、如何致シマセウ
カ、此ノ儘モウ少シ審議ヲ進メテモ宜
イカト存ジマスガ、御覽願ヒテマセ
スカ、御覽願ヒガナレバ御覽願ヒ終了
シタモノト認メテ宜シウゴザイマス
カ

○委員長(伯耆德川宗義君) 別ニ御覽
問モナレバ、御覽願ヒ終了致シマシ

タモノト認メマシテ、討論ニ移リタイ
ト存ジマス、ソレデハ只今議題トナツ
テ居リマス四ツノ議案ヲ一括シテ討論
ヲ致スコトニ御異議ゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵徳川宗敬君) 御異議ナ
イト認メマス

○男爵淺田良彦君 私ハ此ノ四案ニ賛
成スル者デゴザイマスガ、農業團體法
案ニ付キマシテ考ヘテ見マスルニ、
是ハ農地調整ノ重大ナル法案ト密接ナ
ル關係ヲ有スルモノデアリマス、農業
會ノ發達ハ極メテ重要ナコトデアリ、
重大ナ任務ヲ負ハサレテ居ルモノデア
リマスノデ、之ガ指導、育成ニ付キマ
シテハ、深甚ノ考慮ヲ要スルモノト考
ヘマス、從來動トモ致シマスレバ、此
ノ農業會ナルモノハ、各種ノ團體ガ統
合セラレタノデアリマシテ、未ダ尙完
全ナル任務ヲ見ルニ到ラズ、其ノ内部
ニ於テ色々ナ抗爭モナキニシテモアラ
ズ、又仕事モ從ツテ圓滑ニ行カナイト
云フヤウナコトゴザイマスルシ、且
亦行政官廳トノ關係ニ於キマシテモ、
緊密ナル聯繫ガ執レテ居ラヌノデヤナ
イカト思ヒマス、受身ト致シマスレ
バ、アチラカラモコチラカラモ違ツタ
命令ガ出テ見タリ通報ガ來テ見タリ、
誠ニ實際上困難ヲ感ズル節モアルノデ
アリマスガ故ニ、將來ニ於キマシテ
ハ、此ノ點ニ特ニ留意ヲ拂ツテ戴キタ
イト思フノデアリマス、而シテ私ノ考
ヘマスノニハ、將來日本ガ農業國ト相
成ツテ、益々此ノ農業會ヲ發達セシメ
テ行クニ於キマシテ、馬ノ問題モ、農
耕馬ト云フモノハ、當然農會ニ於テ取
扱ツテ行カナケレバナラヌカト思フノ
デアリマスレドモ、從來馬政ハ軍馬
中心デアリマシタ爲ニ、馬ノコトヲ農

會デハ除クト云フコトニナツテ居リマ
ス、是ハ矢張り農耕ニ缺クベカラザル
密接ナル關係ノアル所ノ農耕馬ヲ、當然
農業會ニ於テ扱フヤウニ將來是正スベ
キデハナカラウカト考ヘテ居ルノデア
リマス、此ノ點、先程政府委員ノ説明
ニ依リマスレバ、全面的ニ畜產ト馬政
ト云フモノヲ根本的ニ處理スル研究ヲ
致シテ居ルトノコトデアルカラ、ソレ
ニ信賴ヲ致シマスルケレドモ、成ルベ
ク早イ機會ニ於テ之ガ處理ヲ了セラレ
ルコトヲ希望スル次第デアリマス、次
ニ役員ノ選定ハ、新シイ思想ニ基キ會
員ノ選舉ニナツタト云フコトハ、當然
ノ成行ト思フノデアリマスレドモ、
之ガ取扱ヒ方法ガウマク行キマセヌ
ト、幾多ノ弊弊ヲ惹起スルコトハ、本
來選舉其ノモノノ弊弊ニ於テ明カニ豫
見セラレタル所デアリマスノデ、先程カ
ラ政府委員ニ於キマシテ、命令ヲ以テ
定ムル色々ナ方法手段ニ付キマシテ
ハ、深厚ナル研究ノ下ニ適當ナル規定
ヲ設ケラレルトノ必要ガアルモノト
思フノデアリマス、更ニ先程、是ハ直
接關係ノナイヤウデゴザイマスレド
モ、農林大臣カラ國有林野ノ拂下ノ問
題ニ付テ御答ガアツタノデアリマス
ガ、農耕地トシテ適地デアル所ノ國有
林野ヲ早く還元ヲシテ農地ニスル、斯
ウ云フコトハ地方民多年ノ願望デアリ
マスレドモ、未ダ達セラレズニ居ル
ノデアリマス、就中、此ノ國有林野ハ
一部分ニ局限セラレルト云フ譯デハ
アリマセヌケレドモ、殆ド全國ニ於ケ
ル山林ノ大部分ハ東北地方デアルト云
ツテモ過言デアリマセヌ、從ツテ軒下
迄國有林野ガ來テ居ル、地方ニ依リマ
シテハ村ノ十分ノ八、ソレ以上モ、國
有林野ニ屬スルト云フヤウナ狀況ガ

ルノデゴザイマス、斯カル狀況デアリ
マシテハ、食糧増產ノ見地カラ考ヘマ
シテモ、極メテ不合理ト思フノデア
リマスノデ、單ニ唯唯諾諾ナリナ、政府
ニ於キマシテハ、適地ヲ拂下ゲルト云
フヤウナ來行ハレテ來テ、實行ノ出
來ナイ御答辭ニ依ルコトナク、實
之ヲ積極的ニ解決ヲナサルコトハ、甚
ダ必要デヤナイカト思ヒマス、其ノ他
各委員カラ誠ニ有効適切ナル御意見ガ
幾多アツタノデゴザイマスガ、私ハ是
等各委員ノ述べタル希望ヲ、政府ニ於
テ尊重致シ、成ルベク速ニ之ガ實現ス
ルコトヲ希望致シマシテ、若シソレガ
出來ルナラバ、此ノ案デ結構ダ、斯ウ
云フ風ニ考ヘマス、以上賛成ノ意ヲ表
スル次第デゴザイマス

○村上恭一君 私ハ結論トシマシテ
ハ、此ノ四ツノ法律案ニ原案ノ通り賛
成致シマス、少シク意見ヲ附加ヘタイ
ト思ヒマスルノハ、農業團體法中改正
法律案及水産業團體法中改正法律案、
此ノ二件ニ於ケル改正ノ一ツノ主眼
ハ、從前ノ官僚主義ヲ止メテ所謂民主
主義、自主主義ヲ採入レルト云フコト
デアルト云フヤウニ承ツタノデアリマ
ス、サウシタ思想的、理念的ノ變革ト
云フモノハ、今日ノ事態ニ於テハ、好
ムト好マザルトニ拘ラズ已ムヲ得ナイ
次第デアルト思ヒマス、就キマシテ
此ノ改正法律ガ其ノ方向ニ向ツテ歩武
ヲ進メマスルノハ當然デアリマスル
ガ、私共ハ深く慮リマスル所ハ、私ハ
將來ヲ進ミ方ガ、一方ニ傾キ過ギルト
云フコトガアリハシナイデアラウカ、
兎角何事ニ付キマシテモ、原動ト反動
トヲ免レナイモノデアリマシテ、今日
ハ舊テノ原動ニ對スル反動ヲ喚ビ起シ
タノデアリマスルガ、難テ或時期ニハ、

今日ノ反動ニ對スル又反々動ヲ起ス
コトガアリハシナイカト思ヒマスルノ
デ、其ノヤウナコトヲ考ヘマスルト、
私共ハ國家ノ前途ニ付テ轉ニ寒心ニ堪
ヘザルモノガゴザイマスル、就キマシ
テ此ノ改正法律ヲ施行ナサルニ當リマ
シテハ、餘リニ一方ニ偏スルコトナ
ク、ソレハ實ニ當面ノ事態ニ阿ナルモ
ノダト思ヒマスルカラ、其ノヤウナコ
トナク、常ニ公正ヲ失ハナイヤウニ此
ノ改正法律ヲ御實施ニナルコトヲ、私
ハ政府當局ノ聰明ナル方々ニ特ニ希望
セザルヲ得ナイノデアリマス、露絲業
法ノ全部改正ニ付キマシテモ、矢張り
サウ云フ趣旨ヲ含シテ居リマスルガ、
之ニ付キマシテ同様ノ希望ヲ附加ヘタ
イト思ヒマスル、今一ツノ戰時露絲業
源法中改正法律案ニ付テデアリマ
スルガ、是ハ此ノ改正案ソレ自體ハ大
シタモノデハナイヤウニ存ジマスガ、
此ノ法律ハ確カ前同ノ議會ニ、衆議院
ノ提出ニ依ツテ成立タモノノヤウニ
承知致シテ居リマスガ、當時ニ於キマ
シテ私共此ノ法律ガ結構ダト思ヒマシ
テ、之ガ實施ニハ相當ナ成績ノ舉ルヤ
ウニト云フ將來ニ對スル希望ヲ以テ、
當初此ノ法律ノ成立ニ贊成シタノデゴ
ザイマス、此ノ法律ガ施行サレマシテ
カラ、未ダ幾何モナイノデアリマスル
カラ、ソレガ果シテレダケノ實績ヲ
舉ゲテ居ルカ、又舉ゲルベク約束シテ
居ルカト云フコトハ、今日ニ於テハ當
局ト雖モハツキリ御説明ニナルコトハ
困難ダラウト思ヒマスガ、私共ハ引續
キ此ノ法律ノ將來ニ多大ノ希望ヲ繫グ
モノデゴザイマスルカラ、當局ニ於キ
マシテハ之ガ施行ニ十分ノ御注意ヲ致
サレムコトヲ希フノデアリマス、私ハ
以上ノ希望ノ下ニ、此ノ四ツノ法律案

ニ原案通り賛成致シマス
○委員長(伯爵徳川宗敬君) 御發言モ
ナケレバ採決ヲ致シマス、農業團體法
中改正法律案、水産業團體法中改正法
律案、戰時露絲業源法中改正法律案、
露絲業法改正法律案、是等四案ヲ
一括シテ採決スルコトニ御異議ゴザイ
マセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵徳川宗敬君) 御異議ナ
イモノト認メマス、是等四法案共政府
原案通り御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵徳川宗敬君) 御異議ナ
イモノト認メマス、之ヲ以テマシテ以上
四案ハ可決スベキモノト決定シマシ
タ、之ヲ以テ特別委員會ヲ終リマス
午後三時五十三分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 伯爵徳川 宗敬君 |
| 副委員長 | 男爵淺田 良彦君 |
| 委員 | 侯爵大久保 謙君 |
| | 子爵加藤 泰通君 |
| | 子爵入江 爲常君 |
| | 子爵土屋 尹直君 |
| | 村上 恭一君 |
| | 安井 英二君 |
| | 白根 竹介君 |
| | 黑崎 定三君 |
| | 男爵佐竹 義隆君 |
| | 男爵島津 忠彦君 |
| | 男爵倉富 鈞君 |
| | 橋本清之助君 |
| | 合田 健吉君 |
| | 米原 章三君 |
| | 片倉兼太郎君 |
| | 渡邊 甚吉君 |

國務大臣

農林大臣 松村 謙三君

政府委員

農林政務次官 紅露 昭君

農林參與官 子爵北條 篤八君

農林省總務局長 桶見 義男君

農林省山林局長 黑河内 透君

農林省水產局長 笹山茂太郎君

農林省蠶絲局長 山添 利作君

昭和二十一年一月九日印刷

昭和二十一年一月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局